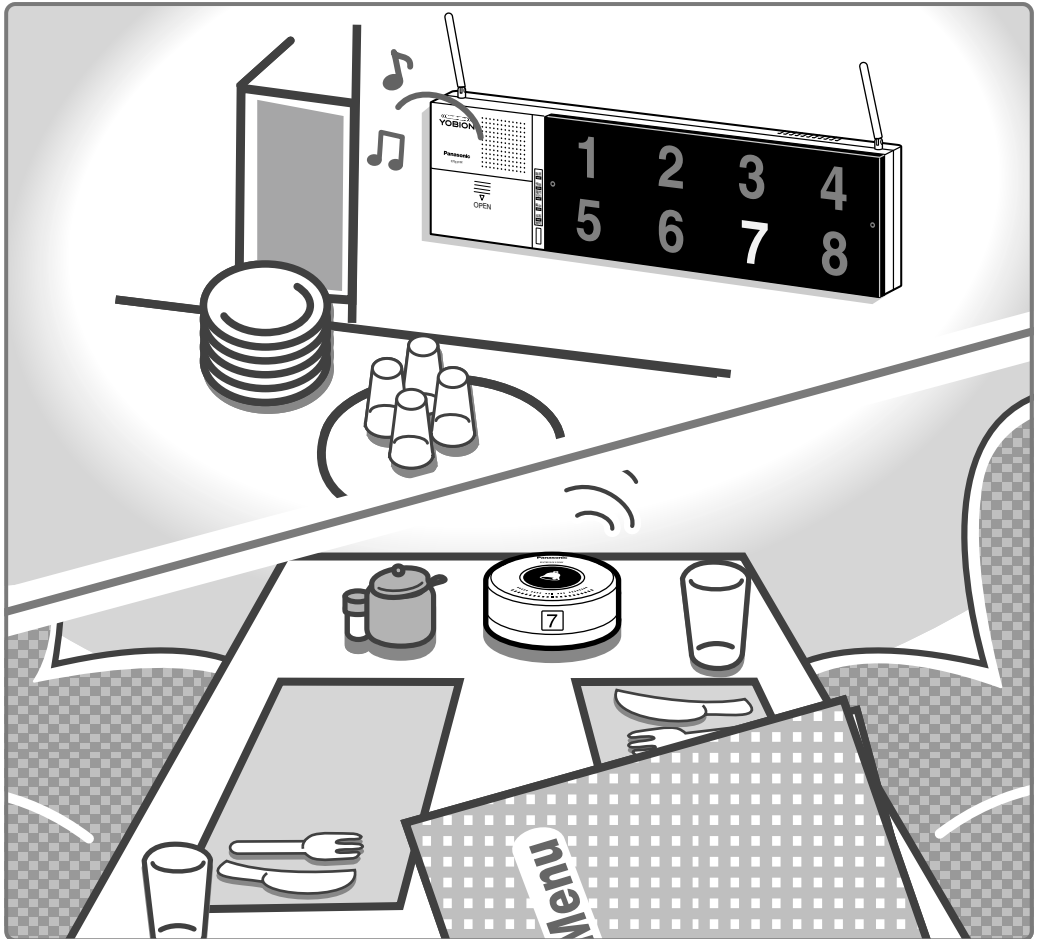
Panasonic®

取扱説明書

ワイヤレスサービスコール
YOBION

小電力型ワイヤレスサービスコール（シンプルタイプ）

保証書別添付　施工説明書別添付

●このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」（1ページ）を必ずお読みください。
●保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です。）

	してはいけない内容です。		実行しなければならない内容です。

■受信器

⚠警告

分解禁止

絶対に分解したり、修理・改造しない。
感電の原因となります。

■受信器に電源コードを使用する場合

⚠警告

ぬれ手禁止

電源プラグをぬれた手で抜き差ししない。
感電の原因となります。

禁止

電源コードは、引っ張ったり、たばねて使用しない。
発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。

電源プラグを抜く

万一、異常が発生したら電源プラグを抜く。
抜かないと、発熱、発火の原因となります。

⚠注意

必ず守る

電源プラグは、定期的に点検を行い、乾いた布などでホコリを取り除く。
プラグ部分にホコリがたまり、湿気が加わると、発火・焼損の原因となります。

■発信器・集中操作器・集中消去器

⚠注意

禁止

新しい乾電池と古い乾電池を混ぜての使用はしない。
乾電池の破裂や液もれの原因となります。

必ず守る

壁面に取り付ける場合は、取り付ける壁面の厚み・材質に注意して、確実に固定する。
固定に不備があると落下によるけがの原因となります。

もくじ

ご注意

設置場所に関するご注意

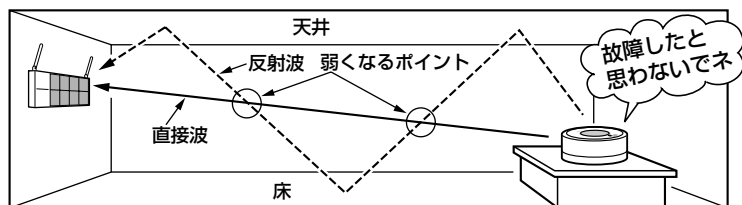
■受信器のアンテナは壁面から約30°かたむけて使用してください。電波を受信しやすくなります。

■「受信器と発信器、集中操作器、集中消去器、および中継器」または「ワイヤレス用アンテナと発信器、集中操作器、集中消去器、および中継器」の電波の到達距離は障害物のない場所での水平見通し距離約100mです。(周囲環境により異なります。)
また、「中継器と発信器、集中消去器、および集中操作器」の電波の到達距離は、障害物のない場所での水平見通し距離約40mです。

[電波が届きにくい場合は、中継器またはワイヤレス用アンテナをご使用になり、動作を確認してください。]

■下記のような使用環境では、電波(ノイズ)を受けたり電波の到達距離が短くなります。このような場合は動作しないことがありますので注意してください。

- ●機器間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がある。
- ●機器間にある壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
- ●機器の周辺が金属物で囲まれている。(スチールキャビネットの間、カラオケボックスなど)
- ●金属物の壁面や机などに機器を取り付けている。
- ●操作する人の体の向きで電波を遮っている。
- ●電子レンジやパソコンなどの家電商品やOA機器が機器の2m以内にある。
- ●機器の近くで、直流電圧で駆動するベルやモーターなどの機器が動作している。
- ●機器の近くで、携帯電話やPHS電話を使用している。
- ●機器の近く(10m以内)で、マイクロ波治療器を使用している。
- ●近くに、テレビ・ラジオの送信所近辺の強電界地域または各種無線局がある。

■到達範囲内でも電波が弱くなるポイントがありますので注意してください。

■設置場所ではあらかじめ動作確認を行ってください。設置後、使用環境(電波環境)が変わることがありますので、定期的に動作確認を行ってください。

受信表示灯の便利な使い方

発信器を操作していないのに、受信器の受信表示灯が赤色点灯・点滅する場合は、近くにある家電商品やパソコンなどのOA機器からの電波(ノイズ)を受けているか、もしくはトランシーバーや当社および他社の無線商品など、特定小電力無線設備が使用されている可能性があります。このような場合は周波数チャンネルを変更して受信表示灯が点灯・点滅しないようにしてください。

使用上のご注意

■故障、破損または動作しない原因となりますので、必ずお守りください。

- ●受信器は、予備電源(バッテリー)を内蔵していませんので、停電の場合、電波が受信できず動作しません。
- ●雨のかかる場所や浴室などの湿度の高い場所で使わないでください。
- ●水をかけないでください。
- ●炊飯器など湯気の出る物を近くに置かないでください。
- ●ストーブなどの高温の物に近づけないでください。
- ●落としたりしないでください。
- ●テレビ、ラジオは、2m以上離してください。
  映像や音声が乱れる場合があります。

■同じ周波数チャンネルであれば、1台の発信器、集中操作器、および集中消去器で受信器は何台でも同時に使用することができます。

■2台以上の発信器、集中操作器、および集中消去器から同時に電波が送信されると、受信器は動作しないことがありますが、故障ではありません。

■送信電波が医用電気機器に与える影響はきわめて少ないものですが、安全管理のため発信器、集中操作器、および集中消去器は医用電気機器から20cm以上離して使用してください。

乾電池の寿命

■次のような状態になった発信器の乾電池を2本とも新しい乾電池と交換してください。

- ● 集中操作器および集中消去器の送信灯が赤色点灯しない。
- ● 受信器に電池切れが近い発信器として番号が表示される。
  受信器には「電池切れ発信器の表示機能」があります。 ☞ 52ページ

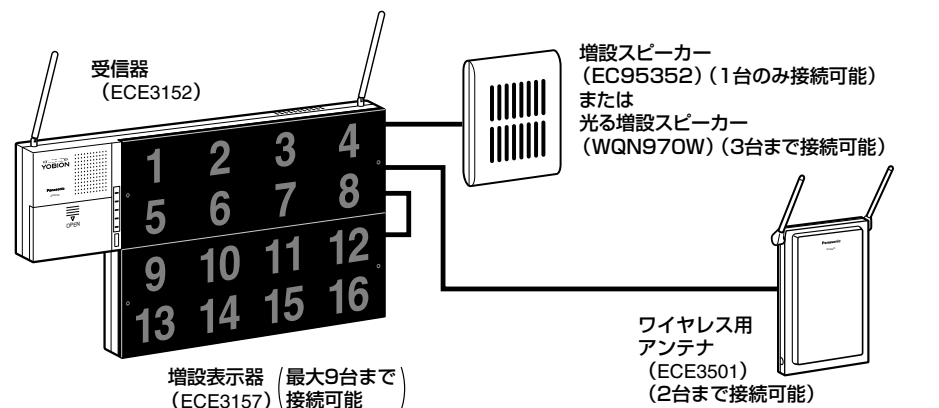
乾電池寿命

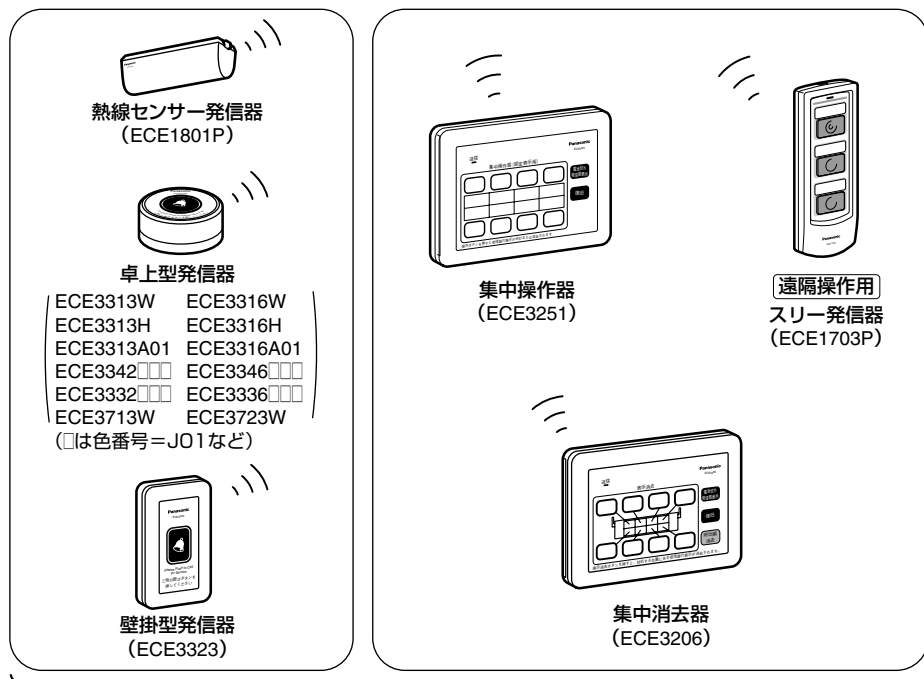
発　信　器：単4形乾電池×2本
1日40回の使用で約1年(マンガン乾電池使用時)
集中操作器、集中消去器：単3形乾電池×2本
1日300回の使用で約1年(アルカリ乾電池使用時)

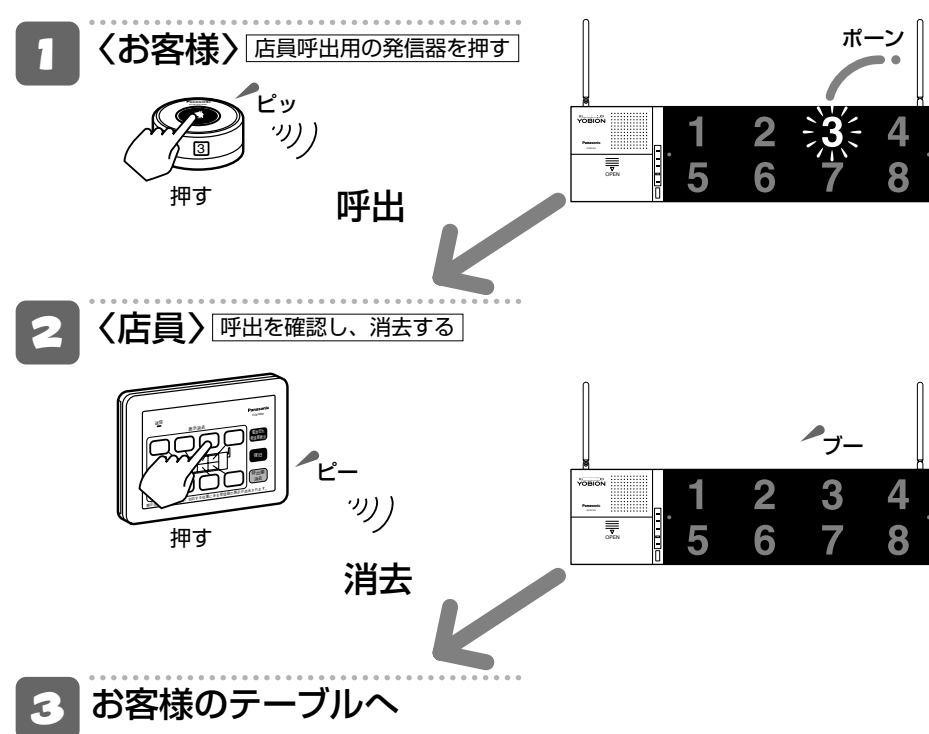
お手入れについて

■ふだんのおそうじは、やわらかい布でふき取ってください。
■汚れが目立つときは、中性洗剤を薄めた液に、やわらかい布を浸し、固く絞ってふき取ってください。
(※噴霧式の洗剤は使用しないでください。)

注: ベンジンなどは引火性があるため、使用しないでください。

システム図

注
- ●小電力型ワイヤレスコールシリーズの発信器（ECE品番）も使用できます。
- ●ワイヤレス中継器も2台まで使用できます。
（登録、使用方法については中継器の取扱説明書をお読みください。）
- ●ハイハイ店番（エコー方式）検知器（EL810431）（別売）も接続できます。

電波の到達距離は障害物のない場所での水平見通し距離で約100m

合計、最大110台まで使用可能

使いかたの流れ（例）

■ご使用の前に

- 小電力型ワイヤレスサービスコールシステムは受信器と発信器、集中操作器、および集中消去器を組み合わせて使用することにより、各発信器からの呼出を受信器側の表示と報知音で知らせるシステムです。
また、ワイヤレス用アンテナを使用することにより、違うフロアや電波の届きにくい場所でも小電力型ワイヤレスサービスコールシステムを使用できます。
なお、このシステムは電波法で認められた「特定小電力の無線局（テレメータ用およびテレコントロール用）」です。

●この商品は一般連絡用ですので緊急連絡用には使用しないでください。

各部のなまえとはたらき

小電力型ワイヤレスサービスコール受信器（シンプルタイプ）（ECE3152）

周波数設定スイッチ
●周波数を設定するときに使用します。
（出荷時：「CH.1」）
（ペン先などで切り替えてください。）
注 **必ずすべてのワイヤレス機器の周波数を合わせてください。**

表示消去スイッチ
●受信器の表示の消去方法を選択するときに使用します。
（出荷時：別ボタン消去）

タイマー
●表示消去のタイマー時間を設定するときに使用します。

報知音ボタン
●発信器が押されたときの報知音を変更するときに使用します。

明るさボタン
●表示窓の明るさを調整するときに使用します。

音量ボタン
●報知音・消去音の音量を調整するときに使用します。
注 **増設スピーカーを接続している場合は、増設スピーカーの音量は変更できません。**

送るボタン
●押すと、表示窓の表示送りをします。

消去スイッチ
●登録を消去するときに使用します。
（ペン先などで押してください。）

電池切れ発信器表示ボタン
●電池切れ表示灯が点滅・点灯時に電池切れが近い発信器を表示させるときに使用します。

アドレススイッチ
●操作したい増設表示器のアドレスを設定します。
（出荷時：0）

モード切替スイッチ
●受信器のモード（状態）を切り替えるときに使用します。
（出荷時：登録モード）

機能設定スイッチ
●さまざまな機能を設定するときに使用します。
（ペン先などで切り替えてください。）

登録消去方法設定スイッチ
●発信器の登録消去方法を選択します。
（出荷時:個別）

小電力型ワイヤレスサービスコール増設表示器（シンプルタイプ）（ECE3157）

表示窓

化粧カバー

アドレススイッチ
●アドレスを設定します。
（出荷時：1
化粧カバーの下にあります。）

設定スイッチ ●増設表示器の表示窓の明るさを設定します。
（出荷時：（受信器連動）
化粧カバーの下にあります。）

アンテナ
注 **壁面から約30°かたむけて使用してください。電波を受信しやすくなります。**

スピーカー

化粧カバー

表示窓
●発信器、集中操作器の番号が表示されます。

YOBION
Panasonic
ECE3152
OPEN
1 2 3 4
5 6 7 8

操作カバー

はずす

電源
受信
電池切れ
集中
来客報知

電源表示灯
●緑色点灯で電源が入っていることを示します。

受信表示灯
●赤色点灯（約0.5秒）で発信器、集中操作器、および集中消去器の電波を受信したことを示します。
注 **発信器を操作していないときに赤色点灯または赤色点滅する場合は、電波妨害を受けていることを示します。**

電池切れ表示灯
●赤色点灯すると電池切れが近い発信器があることを示します。赤色点滅すると電池切れが近い発信器の番号を表示していることを示します。
注 **消灯のときは電池切れが近い発信器はありません。**

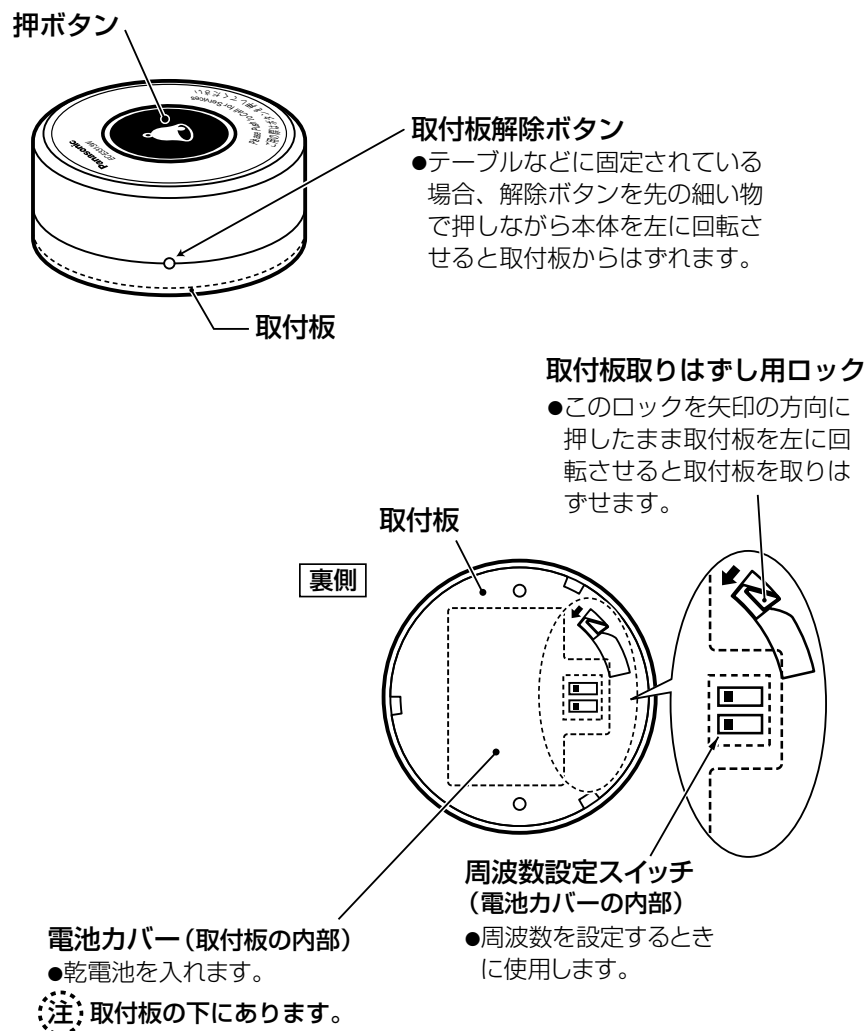
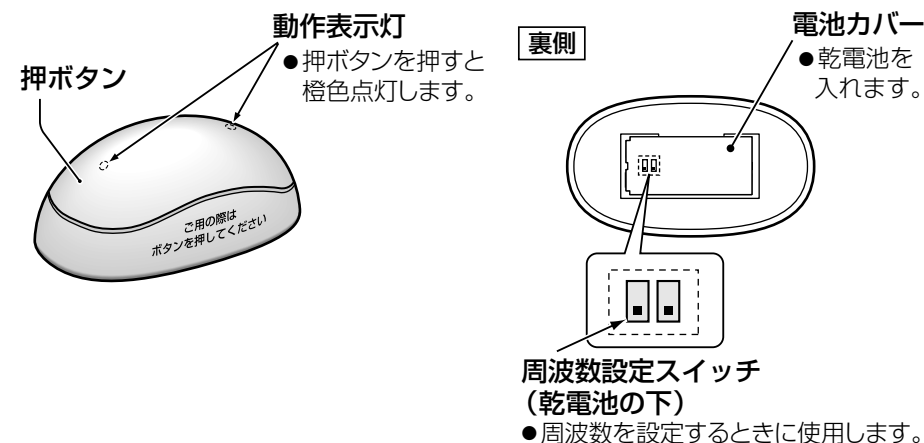
集中表示灯
●集中操作器、集中消去器の登録・消去時、および電池切れが近いときに赤色点滅します。

来客報知表示灯
●熱線センサー発信器の登録・消去時、および電池切れが近いときに赤色点滅します。
●赤色点灯で来客報知「入」状態を示します。（「切」状態は消灯）
赤色点滅で熱線センサー発信器または外部接点入力機器が来客を検知したことを示します。

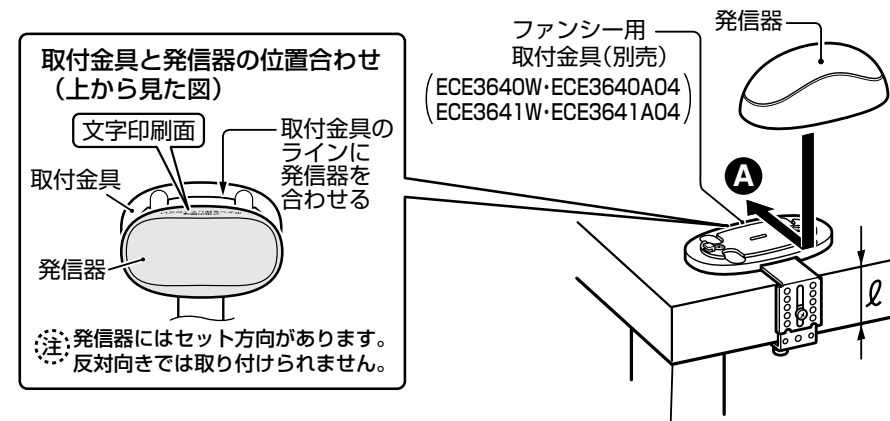
来客報知入/切ボタン
●来客報知を「入･切」するときに使用します。

各部のなまえとはたらき（つづき）

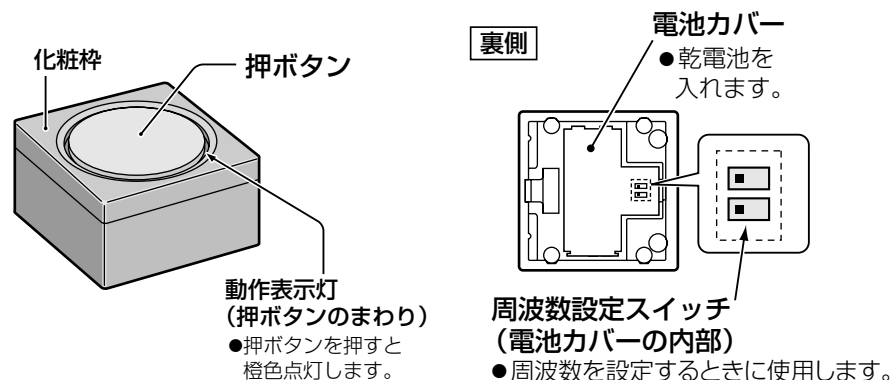
小電力型ワイヤレスサービスコール卓上型発信器（ECE3313シリーズ・ECE3316シリーズ）

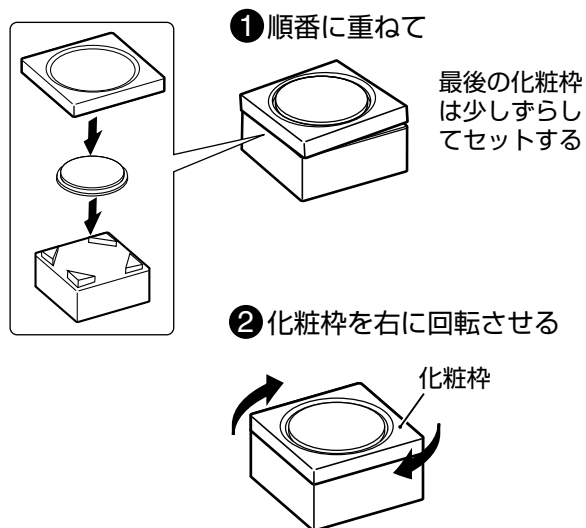
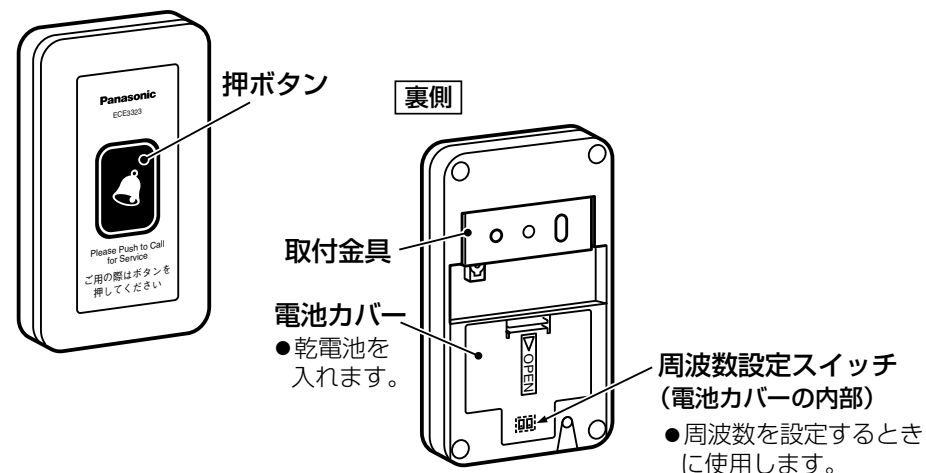
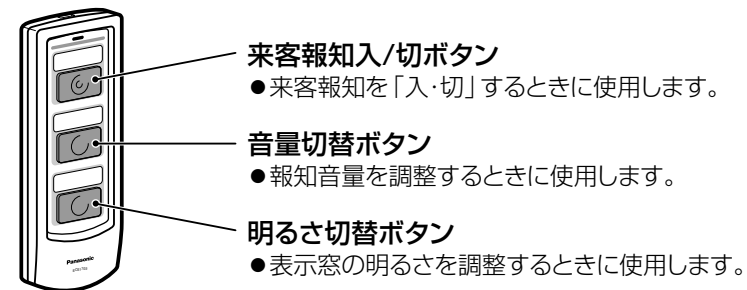
注 取付板の下にあります。

小電力型ワイヤレス発信器ファンシー（ECE3342シリーズ・ECE3346シリーズ）

取付金具へのセットのしかた

●別売の取付金具を使用して、テーブルなどへ発信器を固定することができます。

取付金具と発信器の位置を合わせて、Ⓐ の方向に発信器をスライドさせる

発信器の色	組み合わせる取付金具	テーブルの厚み（ℓ）
ブラウン以外	ECE3640W	約12.5mm〜44mm
ブラウン	ECE3640A04	
ブラウン以外	ECE3641W	約44mm〜70mm
ブラウン	ECE3641A04	

各部のなまえとはたらき（つづき）

小電力型ワイヤレス発信器みやび（ECE3332シリーズ・ECE3336シリーズ）

化粧枠・押ボタンのセットのしかた

●押ボタン部分は掃除するために、はずれる構造になっています。
清掃後や落下などではずれた場合は、下記にしたがってセットしてください。

小電力型ワイヤレスサービスコール壁掛型発信器（ECE3323）

小電力型ワイヤレスコールスリー発信器（ECE1703P）

周波数設定スイッチはカバーの内部にあります。（☞カバーのはずしかた23ページ）

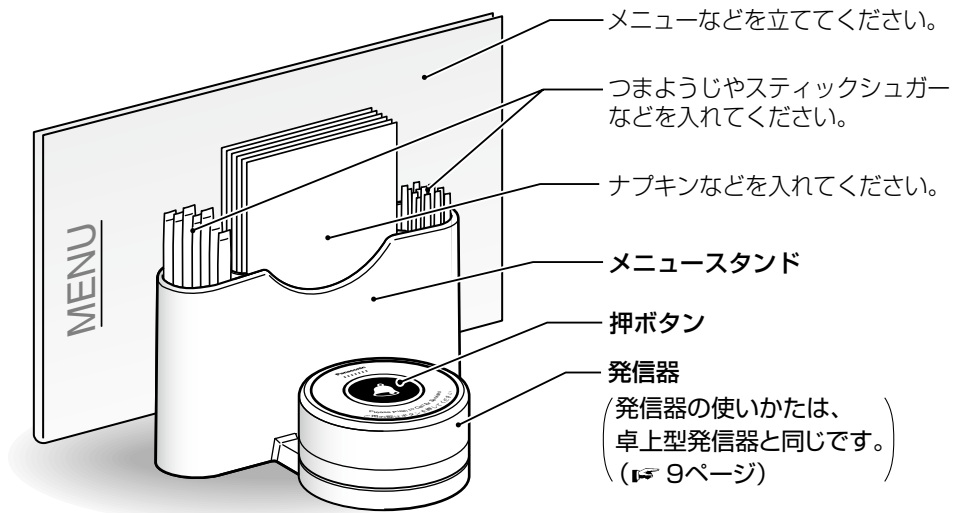
■おことわり

●発信器（卓上型・ファンシー・みやび・壁掛型・集中操作器・集中消去器・スリー発信器）は、総務省の技術基準に適合しています。商品に貼り付けられている表示（㊜ マーク）は、その証明マークです。表示マークの貼り付けられている商品は総務大臣の許可なしに改造して使用することはできません。

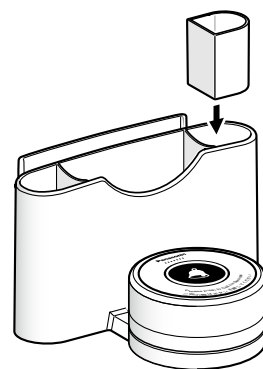
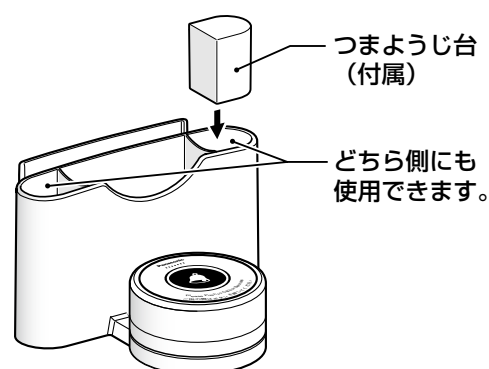
改造すると法律により罰せられることがあります。

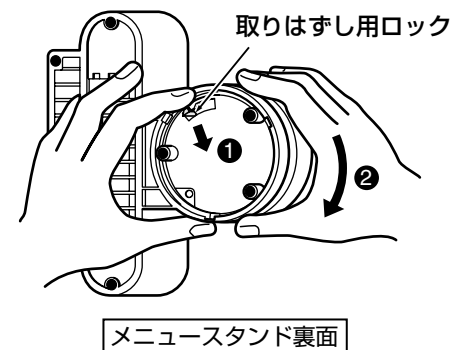
各部のなまえとはたらき（つづき）

小電力型ワイヤレスサービスコール卓上型発信器（メニュースタンド付）（ECE3723W）

（発信器の使いかたは、卓上型発信器と同じです。（☞ 9ページ））

つまようじ台の使いかた

● つまようじなどのように丈が短くメニュースタンドとの高さが合わない場合に、底上げ用の台として使用してください。

● つまようじ台を底上げ用の台として使用しない場合は、底上げ使用時と逆にしてはめ込んでいただくと、高さを変えずに使用することができます。

発信器のはずしかた

❶ 取りはずし用ロックを押しながら

❷ 発信器を左に回す

解除ボタンを先の細いもので押しながら、発信器を左に回転させてはずすこともできます。

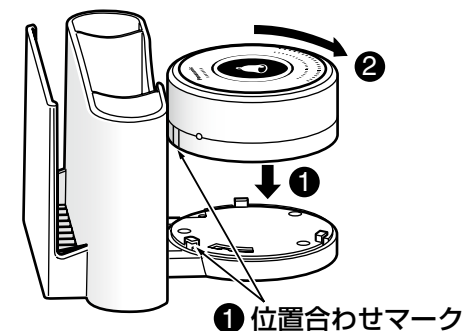
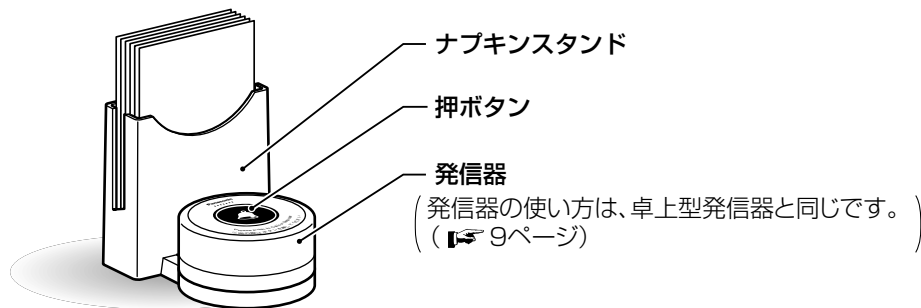
発信器のセットのしかた

❶ 位置合わせマークを合わせる

❷ 発信器を「カチッ」と音がするまで右へ回す

各部のなまえとはたらき（つづき）

小電力型ワイヤレスサービスコール 卓上型発信器（ナプキンスタンド付）（ECE3713W）

（発信器の使い方は、卓上型発信器と同じです。（☞ 9ページ））

●発信器のはずしかた、セットのしかたについては、メニュースタンドと同じです。（☞ 14ページ）

小電力型ワイヤレスサービスコール集中操作器（固定表示タイプ用）（ECE3251）

送信灯
●操作ボタンが押されたときに赤色点灯します。

電池切れ発信器表示ボタン
●受信器の電池切れ表示灯が点滅・点灯時に、電池切れが近い発信器を表示させます。

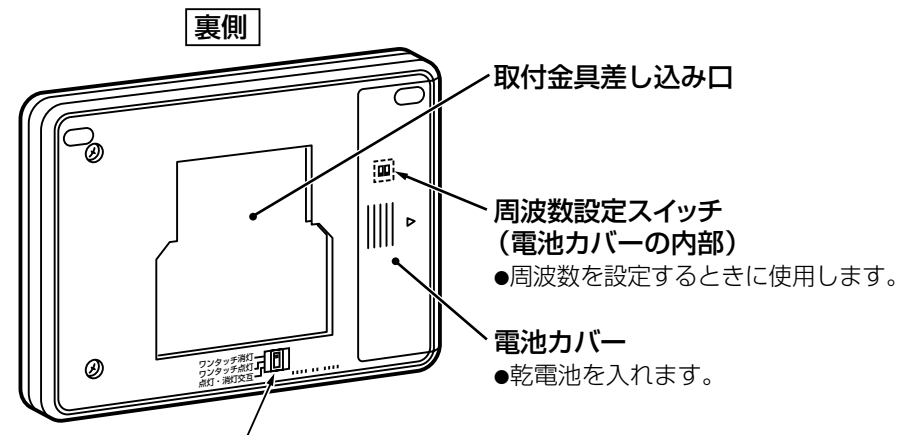
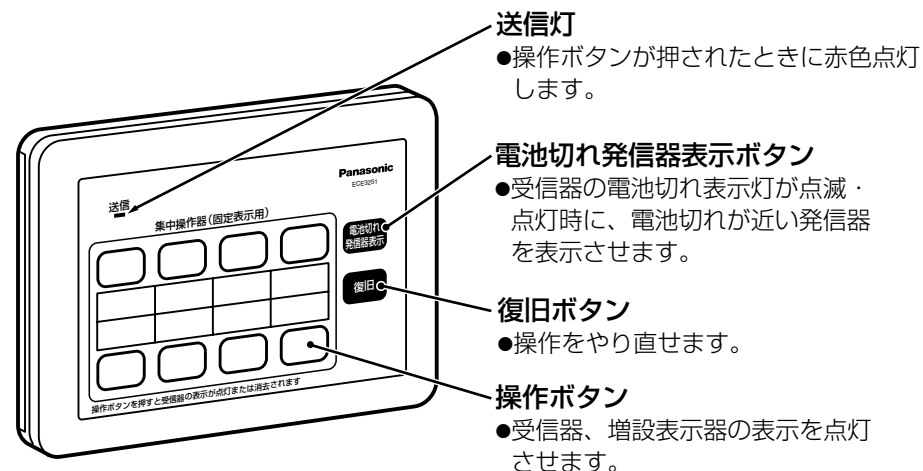
復旧ボタン
●操作をやり直せます。

操作ボタン
●受信器、増設表示器の表示を点灯させます。

裏側

取付金具差し込み口

周波数設定スイッチ（電池カバーの内部）
●周波数を設定するときに使用します。

電池カバー
●乾電池を入れます。

動作切替スイッチ（出荷時:ワンタッチ消灯）

（ワンタッチ消灯：操作ボタンを押すと、受信器または増設表示器の表示が消灯します。（点灯させることはできません。）
ワンタッチ点灯：操作ボタンを押すと、受信器または増設表示器の表示が点灯します。（消灯させることはできません。）
点灯・消灯交互：操作ボタンを押すと、受信器または増設表示器の表示が点灯し、再度押すと消灯します。）

各部のなまえとはたらき（つづき）

小電力型ワイヤレスサービスコール集中消去器（ECE3206）

送信灯
●消去ボタンが押されたときに赤色点灯します。

電池切れ発信器表示ボタン
●受信器の電池切れ表示灯が点滅・点灯時に、電池切れが近い発信器を表示させます。

復旧ボタン
●操作をやり直せます。

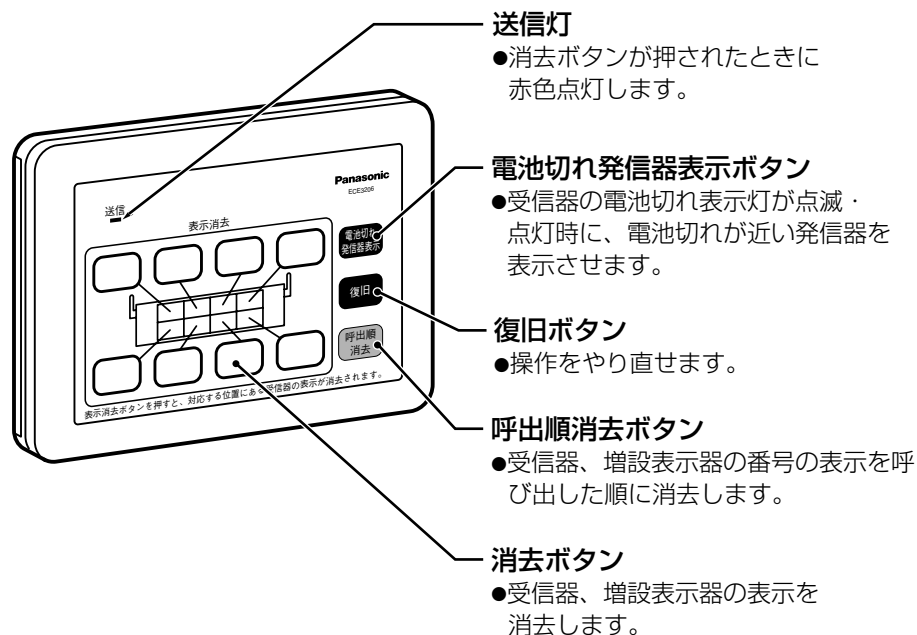
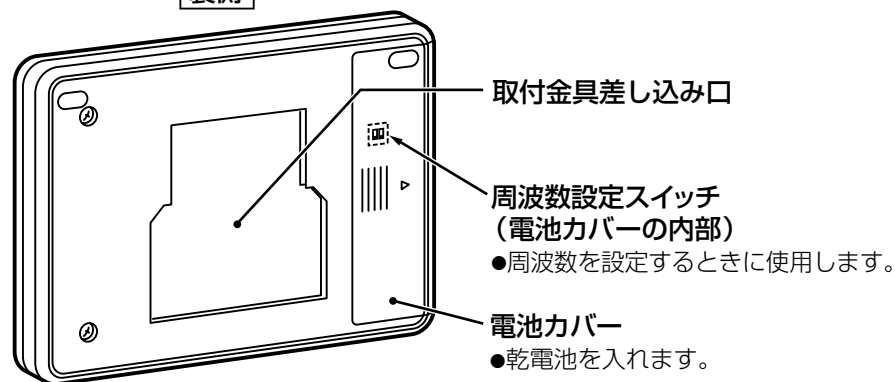
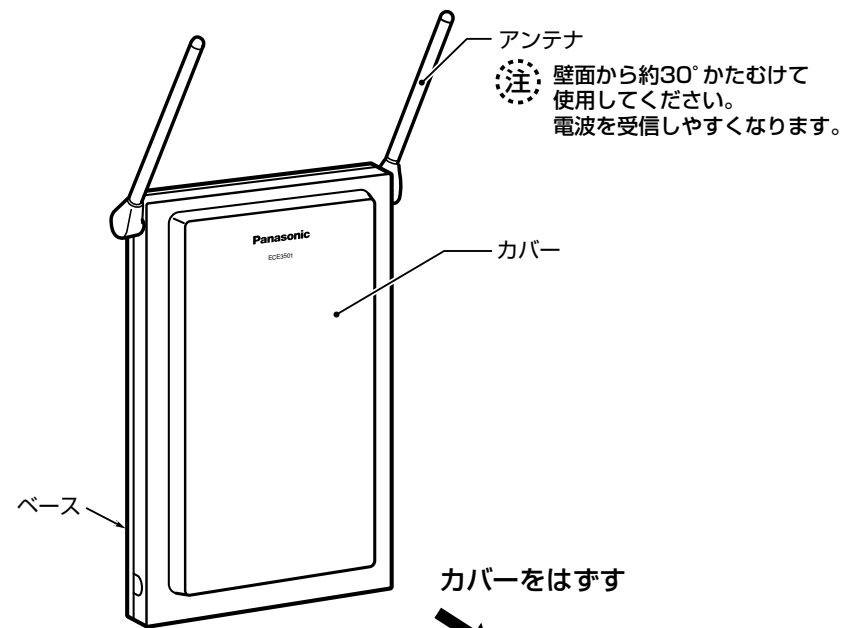
呼出順消去ボタン
●受信器、増設表示器の番号の表示を呼び出した順に消去します。

消去ボタン
●受信器、増設表示器の表示を消去します。

裏側

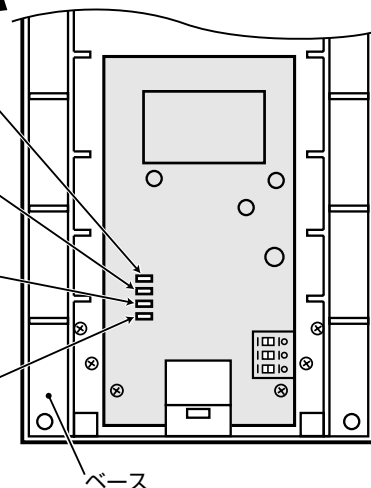
取付金具差し込み口

周波数設定スイッチ（電池カバーの内部）
●周波数を設定するときに使用します。

電池カバー
●乾電池を入れます。

小電力型ワイヤレス用アンテナ（ECE3501）

電源表示灯
●緑色点灯で電源が入っていることを示します。

動作表示灯
●赤色点灯でワイヤレス用アンテナから受信器へ送信していることを示します。

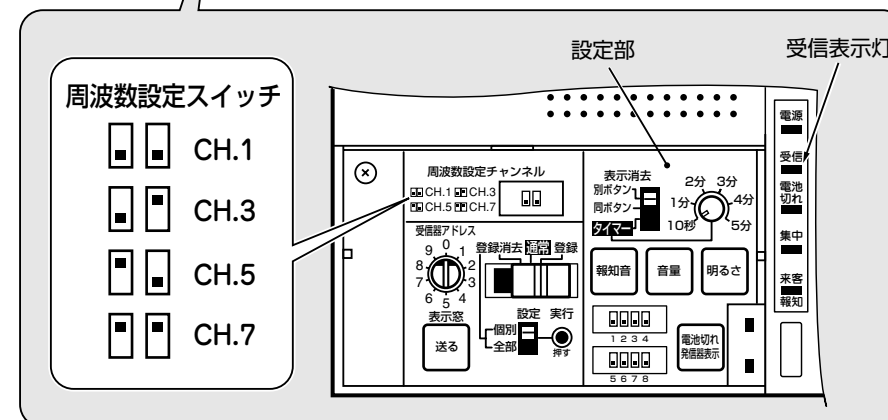
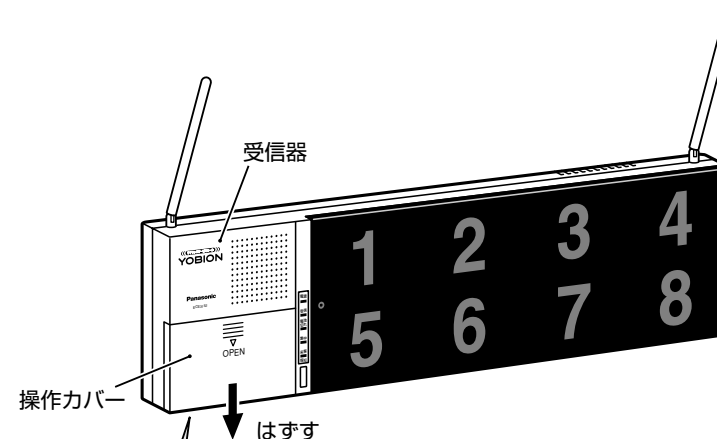
受信表示灯
●赤色点灯で発信器、集中操作器、および集中消去器の電波を受信したことを示します。

テレコン表示灯
●赤色点灯で受信器とワイヤレス用アンテナの接続が正常であることを示します。点灯しない場合は正しく接続されていません。接続し直してください。

準　備

まずは、以下の準備を行ってください。

周波数チャンネルを確認する

すべてのワイヤレス機器の周波数が同じであることを確認してください。異なると動作しません。

● 出荷時はどの機器も「CH.1」に設定されています。

● 発信器、集中操作器、集中消去器の周波数チャンネル位置について
☞ 9～12、16～17ページ

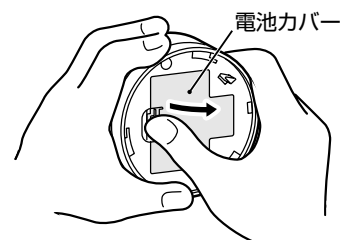
使用するワイヤレス機器のすべてに乾電池（別売）を入れてください。

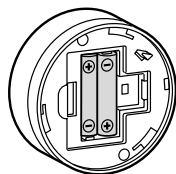
■卓上型発信器

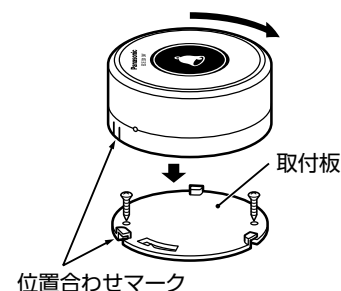
1 取付板をはずす

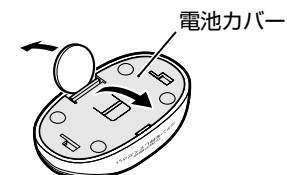
- 取付板取りはずし用ロックを押しながら、取付板を左に回転させてはずす。

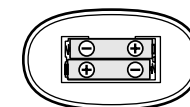
注 側面の取付板解除ボタンを押して取りはずすこともできます。
☞ 9ページ

2 電池カバーをはずす

3 単4形乾電池2本（別売）を入れる

- 極性を間違えないように乾電池を入れて、電池カバーを閉める。

4 取付板を取り付ける

- 発信器本体と取付板の位置合わせマークを合わせ、発信器本体を「カチッ」と音がするまで右へ回転させる。

■ファンシー

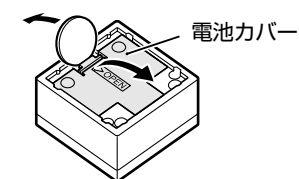
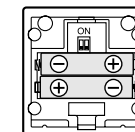
1 コインなどで電池カバーをはずす

2 単4形乾電池2本（別売）を入れる

- 極性を間違えないように乾電池を入れて、電池カバーを閉める。

■みやび

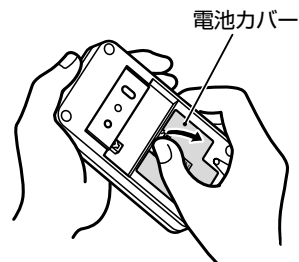
1 コインなどで電池カバーをはずす

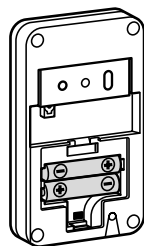
2 単4形乾電池2本（別売）を入れる

- 極性を間違えないように乾電池を入れて、電池カバーを閉める。

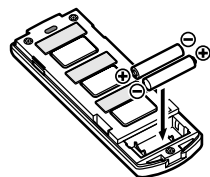
準備

乾電池を入れる（つづき）

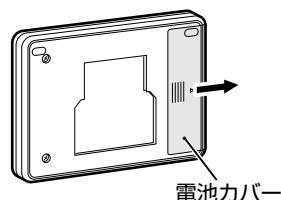
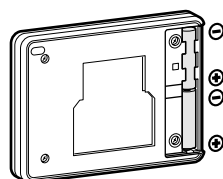
■壁掛型発信器

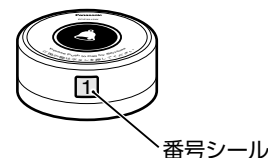
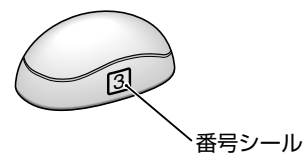
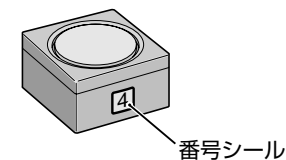
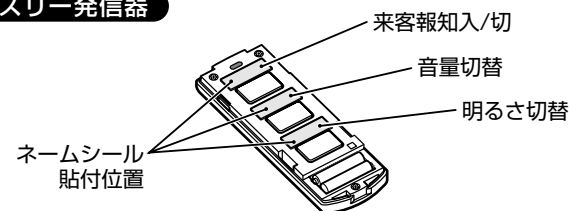
1 電池カバーをはずす

2 単4形乾電池2本（別売）を入れる

●極性を間違えないように乾電池を入れて、電池カバーを閉める。

■スリー発信器

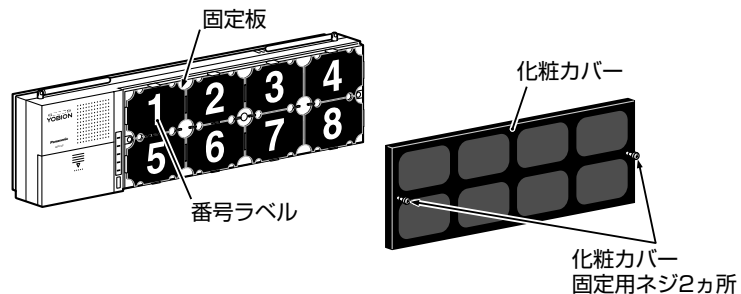
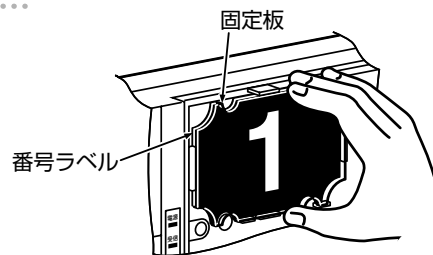
1 コインなどでカバーをまわしてはずす

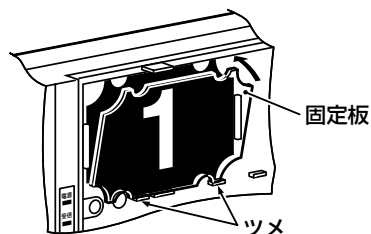
2 単4形乾電池2本（別売）を入れる

■集中操作器・集中消去器

1 電池カバーをはずす

2 単3形乾電池2本（別売）を入れる

発信器にシールを貼る

■番号呼出用の発信器に番号シール（受信器に付属）を貼る

■遠隔操作用のスリー発信器に遠隔操作表示ラベル（受信器に付属）を貼る

受信器・増設表示器の番号ラベルを変える

注 増設表示器も同じ手順で交換できます。

1 化粧カバーをはずす

2 固定板をはずして、番号ラベルを入れ替える

3 固定板を下のツメにのせて、はめ込み、化粧カバーを取り付ける

注 確実に固定されていることを確認してください。

MEMO

準備

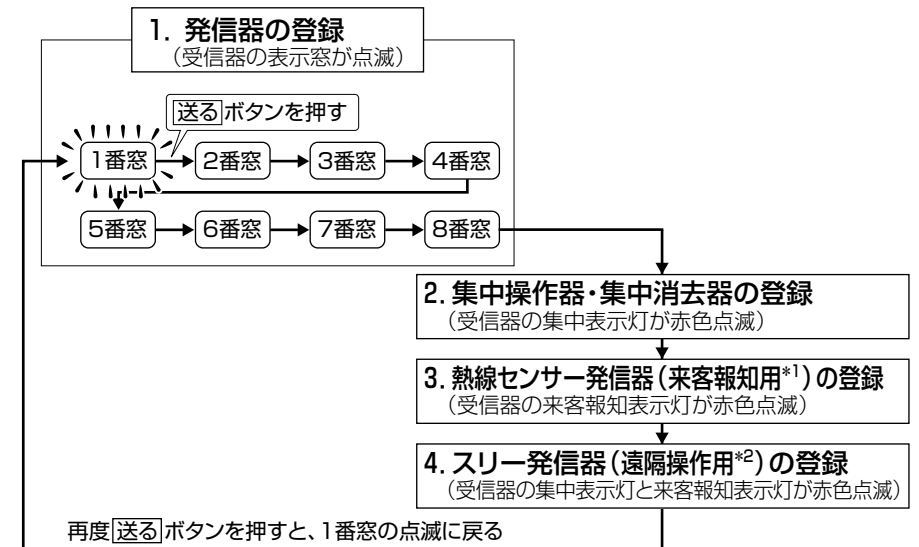
登録操作

お使いになる発信器、集中操作器、および集中消去器などは、
すべて受信器に登録する必要があります。

登録操作について

お使いになる発信器、集中操作器、集中消去器、熱線センサー発信器、およびスリー発信器は、すべて受信器に登録する必要があります。

注 登録しないと使用できません。

登録手順の流れ

● 送る ボタンを押すたびに、登録先が変わります。
表示窓や表示灯の点滅で登録先を確認して、登録してください。

注
● **登録番号を間違えた場合は、送る ボタンで正しい番号を表示させてから、もう一度発信器の押ボタンを押してください。（新しい番号に登録し直されます。）**
● **同様に増設表示器も登録できます。**
登録する場合は、受信器のアドレススイッチと増設表示器のアドレススイッチを変更してから、登録してください。 ☞ 34ページ
（アドレスとは、受信器・増設表示器ごとに設定する固有の番号です。）
● **増設表示器には熱線センサー発信器、スリー発信器は登録できません。**
● **増設表示器には集中表示灯はありません。**
集中操作器および集中消去器を登録する場合は受信器の集中表示灯が赤色点滅します。

次ページに続く

登録操作

登録操作について（つづき）

＊1:**来客報知**（来客を報知させるときに使う）

- お客様を熱線センサー発信器が検知すると、受信器から報知音が鳴ります。

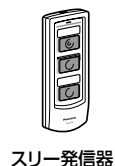
【来客報知用発信器】

熱線センサー発信器

＊2:**遠隔操作**（報知音量や表示窓の明るさ、来客報知の入/切を遠隔操作）

- 「遠隔操作」とは、下記の機能設定を受信器の設定ボタンを使わずに、スリー発信器の押ボタンを押して、離れた場所から行う操作です。

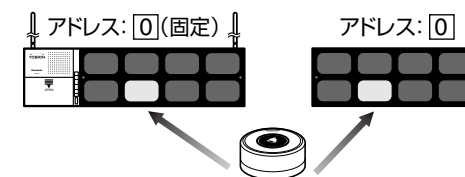
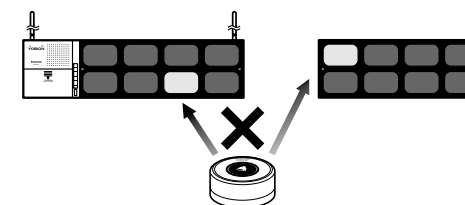
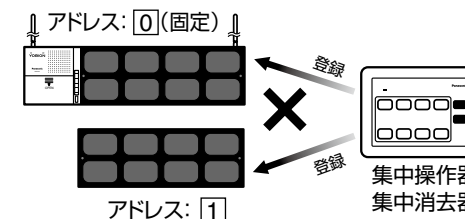
音　　量：受信器からの報知音の音量を調整する
明 る さ：受信器の表示窓の明るさを調整する
来客報知：来客報知するか、しないかを設定する
（熱線センサー発信器または外部接点入力機器設置時）

【遠隔操作用発信器】

スリー発信器

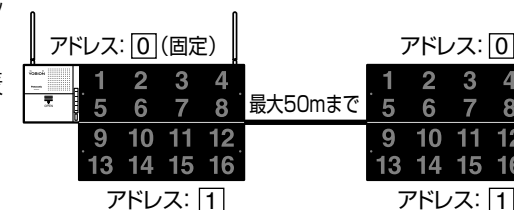
注 **スリー発信器は番号呼出用としては使用できません。**

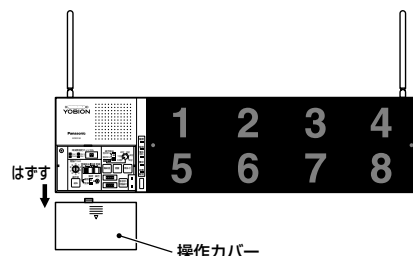
- 登録や消去は受信器またはワイヤレス用アンテナの近くで行ってください。
- 登録可能台数について ☞5ページ
- 小電力型ワイヤレスコールシリーズの発信器も使用できます。

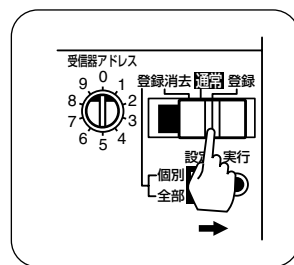
使いかたについて

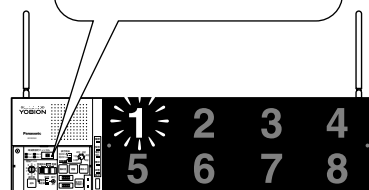
- アドレス（番号）を同じにすれば、同じ表示窓に自動的に登録されます。

- アドレス（番号）に関係なく、違う表示窓に同じ発信器を登録することはできません。

- アドレス（番号）の違う受信器または増設表示器を1台の集中操作器（集中消去器）では操作できません。

- 増設表示器のアドレススイッチを異なる番号に設定すると、すべての表示窓に違う番号を表示することができます。

- 増設表示器のアドレススイッチを同じ番号に設定すると、同じ表示を違う場所でも表示することができます。

登録操作

登録する

受信器の操作カバーをはずしてください。

1 モード切替スイッチを「登録」側にし、アドレススイッチが「0」であることを確認する

➡1番窓が点滅し、登録状態であることを示します。

2 登録する

- すべての登録が終われば、モード切替スイッチを「通常」側にしてください。 ☞35ページ

発信器の登録

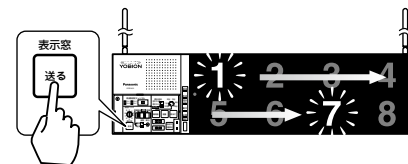
使いかた ☞40ページ

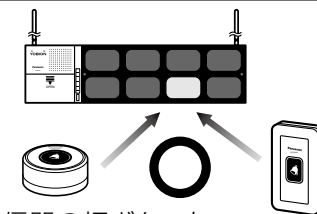
❶ 1番窓に登録する発信器（1）の押ボタンを押す

➡「ポーン」と鳴り、1の発信器が1番窓に登録されます。

➡点滅が2番窓にくり上がります。

表示窓の直接選択

登録させる番号を選びたい場合は、送る ボタンを使って目的の番号を表示させてから、発信器の押ボタンを押してください。

メモ

- 同じ表示窓に発信器を複数台（110台まで）登録することもできます。
- 1台の発信器を2つ以上の表示窓に登録することはできません。
- 登録番号を間違えた場合は、送る ボタンで正しい番号を表示させてから、もう一度発信器の押ボタンを押してください。（新しい番号に登録し直されます。）
- 受信器の報知音を変更した場合、登録時に鳴る音も変わります。
☞ 47ページ

集中操作器・集中消去器の登録

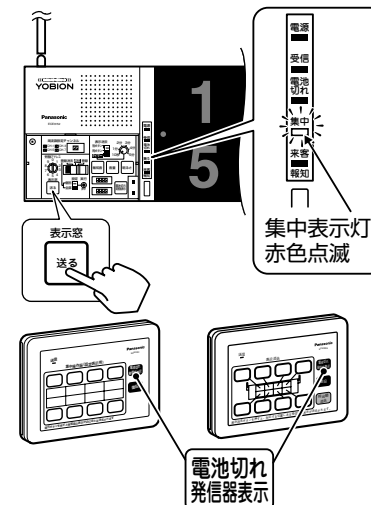
使いかた ☞40ページ

❶ 送る ボタンを使って、集中表示灯を赤色点滅させる

- 8番窓への登録操作が完了しても、集中表示灯が赤色点滅します。

❷ 使用する集中操作器や集中消去器の 電池切れ発信器表示 ボタンを押す

➡「ポーン」と鳴り、登録されます。（表示は出ません。）

メモ

- 複数台登録する場合は手順 ❷の操作をくり返してください。
- 集中表示灯点滅時以外でも登録できます。その場合は、表示窓の点滅が一瞬消灯し、集中表示灯が点灯（約0.5秒）します。その後、再び元の表示窓が点滅します。

次ページに続く

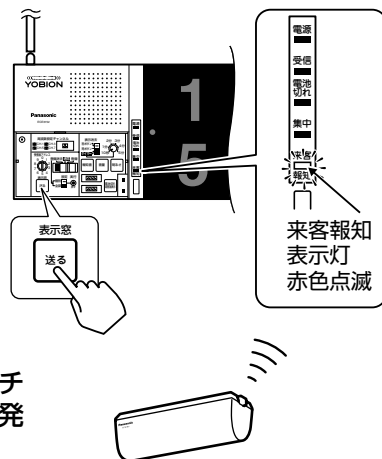
熱線センサー発信器の登録

使いかた ☞46ページ

❶ 送る ボタンを使って、来客報知表示灯を赤色点滅させ

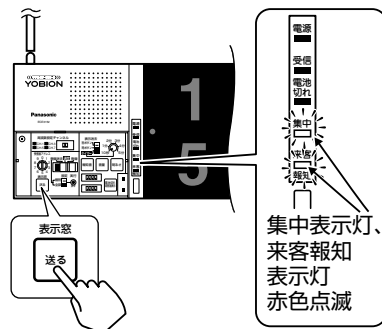
❷ 熱線センサー発信器を動作させる

➡「ピンポン」と鳴り、登録されます。(表示は出ません。)

注 登録した後は、受信器のモード切替スイッチを[通常]側に戻すまでは、熱線センサー発信器の電池を抜いておいてください。
(熱線センサー発信器が動作して再登録されるのを防ぐため)

【来客報知用発信器】

スリー発信器の登録

使いかた ☞46·49～50ページ

❶ 送る ボタンを使って、集中表示灯と来客報知表示灯の両方を赤色点滅させる

❷ スリー発信器の来客報知入/切ボタン(一番上)を押す

➡「ポーン」と鳴り、右のような機能が各ボタンに割り当てられます。(表示は出ません。)

【遠隔操作用発信器】

増設表示器への登録

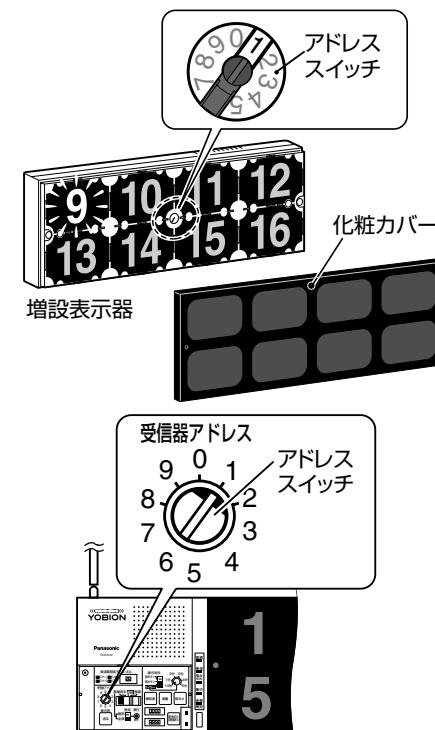
注 アドレス設定が必要です。
使いかたに合わせてアドレススイッチを操作してください。
(使いかた ☞30ページ)

❶ 増設表示器のアドレススイッチを設定する

(化粧カバーをはずしてください。)

〈出荷時〉アドレススイッチ:「1」

❷ 受信器のアドレススイッチを手順 ❶ で設定した番号に合わせる

➡手順 ❶ で設定した増設表示器の1番窓が点滅します。

❸ 受信器への登録と同様に「発信器」「集中操作器・集中消去器」の登録を行う

❹ 使用するすべての増設表示器への登録が終了したら、受信器のアドレススイッチを0に戻す

注 増設表示器のアドレススイッチは手順 ❶ で設定した番号のままで使用します。

メモ

- アドレススイッチを同じ番号に設定する場合は、受信器に登録すれば、増設表示器は登録する必要はありません。(自動的に登録されます。)
- 熱線センサー発信器とスリー発信器は、増設表示器には登録できません。
- 増設表示器には集中表示灯はありません。
  集中操作器および集中消去器を登録する場合は受信器の集中表示灯が赤色点滅します。

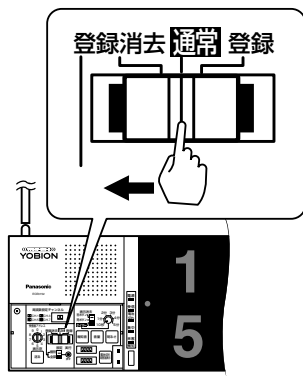
次ページに続く

登録する（つづき）

3 **すべての登録が終われば、モード切替スイッチを「通常」側にする**

動作確認

すべての発信器や集中操作器・集中消去器の登録が完了してから、発信器などを操作して受信器が正常に動作することを確認してください。

メモ

■登録しようとすると、報知音「ブブブ」音が鳴るときは…

➡ 登録可能台数を超えています。（☞登録可能台数5ページ）

➡ 集中表示灯が点滅している状態で、卓上型発信器、壁掛型発信器、熱線センサー発信器、スリー発信器から登録しようとしています。（☞集中操作器・集中消去器の登録32ページ）

登録を消去する

特定の発信器の登録を消去する「個別消去」、登録しているすべてのワイヤレス機器の登録を消去する「全消去」の2つの消去方法があります。

個別消去

1 **モード切替スイッチを「登録消去」側にする**

2 **登録消去方法設定スイッチを「個別」側にする**

➡受信器の1番窓（左上の窓）が点滅します。

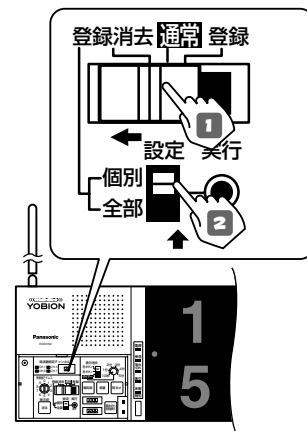
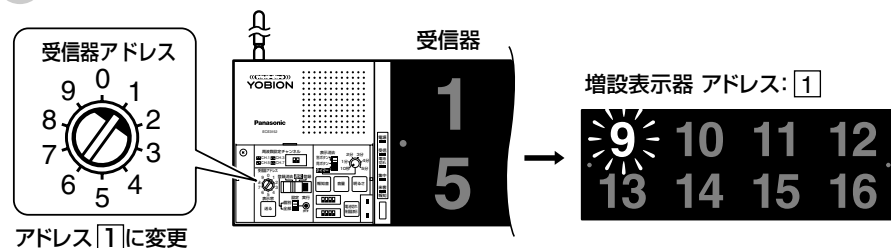
3 **受信器のアドレススイッチを設定する**（増設表示器使用時）

■受信器に登録した発信器、集中操作器、および集中消去器の登録を消去する場合

●受信器のアドレススイッチは変更する必要はありません。

■増設表示器に登録した発信器、集中操作器、および集中消去器の登録を消去する場合

●消去したい発信器、集中操作器、および集中消去器が登録されている増設表示器のアドレス（番号）に変更してください。

●消去する受信器または増設表示器の1番窓（左上の窓）が点滅します。

例 **増設表示器（アドレス＝1）に登録されている発信器を消去する**

受信器のアドレススイッチを 1 にすると…

アドレス 1 の増設表示器の左上の窓が点滅する

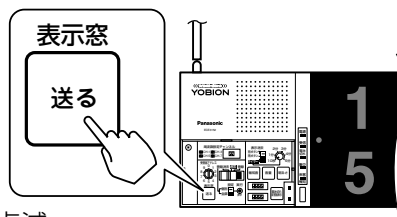
次ページに続く

4 送る ボタンを使って、消去したい発信器番号を点滅させる

■番号呼出用の発信器以外の場合

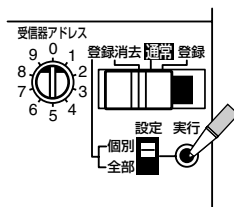
集中操作器
集中消去器 } :集中表示灯 点滅

熱線センサー発信器 :来客報知表示灯 点滅

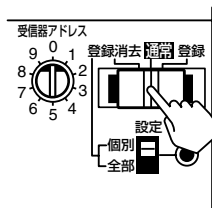
スリー発信器 :集中表示灯と来客報知表示灯 点滅

5 消去 スイッチを押す（約1秒）

➡「ブー」音が鳴り、登録が消去されます。

注 ●同一表示窓に複数台の発信器が登録されている場合は、一度に複数台とも消去されます。

●同じアドレス（番号）の受信器と増設表示器に登録されている発信器は、両方の登録が一度に消去されます。

6 必要であれば、手順 3～5 をくり返して消去を行う

7 消去操作が終われば、モード切替スイッチを「通常」側にする

●受信器のアドレススイッチを変更した場合は、0 に戻してください。

全消去

1 モード切替スイッチを「登録消去」側にする

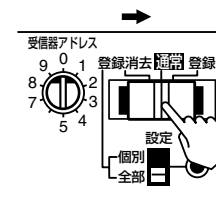
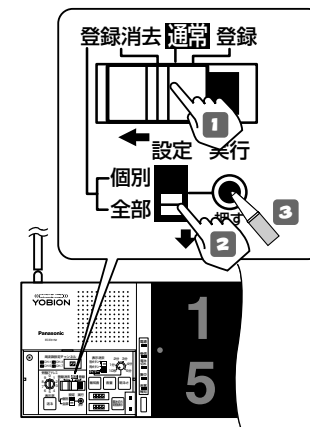
2 登録消去方法設定スイッチを「全部」側にする

➡すべての表示窓が点滅します。

3 消去 スイッチを押す（約1秒）

➡「ブー」音が鳴り、すべての登録が消去されます。
（表示窓は点滅し続けます。）

注 全消去すると、使用している受信器、増設表示器すべての登録が消去されます。

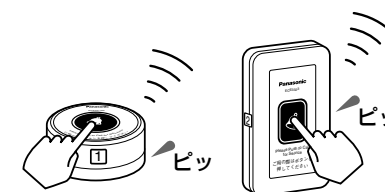
4 モード切替スイッチを「通常」側にする

登録操作

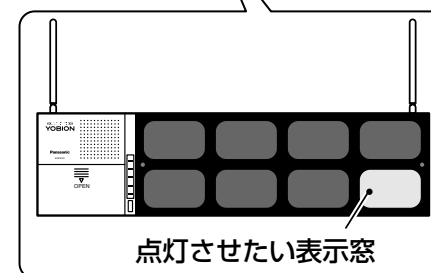
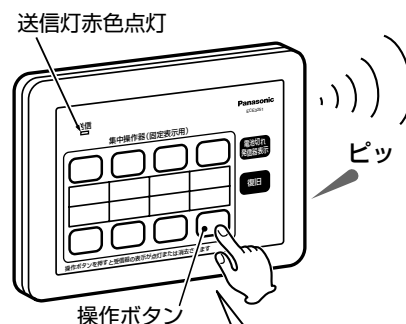
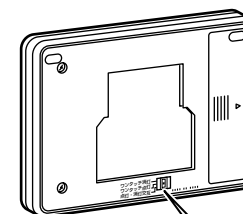
使いかた

発信器で呼び出す

卓上型発信器・壁掛型発信器

押ボタンを押す

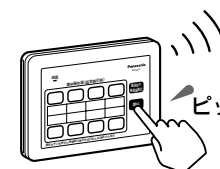
➡発信器に登録した番号が受信器に表示されます。

集中操作器

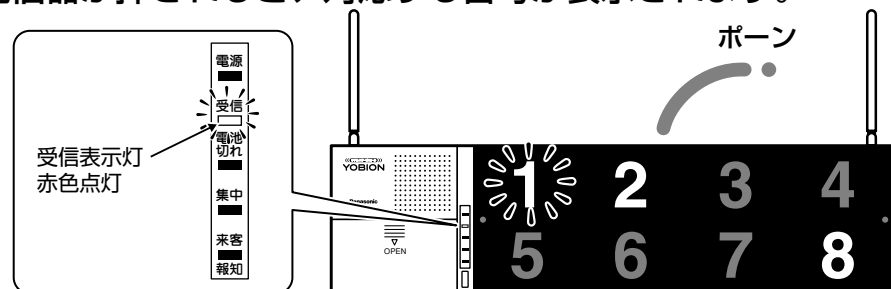
表示窓に対応した位置の操作ボタンを押す

注 「ワンタッチ点灯」または「点灯・消灯交互」に設定してください。
（「ワンタッチ消灯」では点灯しません。
☞16ページ）

■間違えたとき

復旧ボタンを押す

● 10秒以内なら受信器の表示を消灯できます。

使いかた

受信器に番号が表示される

発信器が押されると、対応する番号が表示されます。

- 1番先に押された番号は消灯するまで点滅し続けます。（常に最先着の番号がわかります。）
- 2番目以降の番号は約5秒間点滅し、その後点灯に変わります。

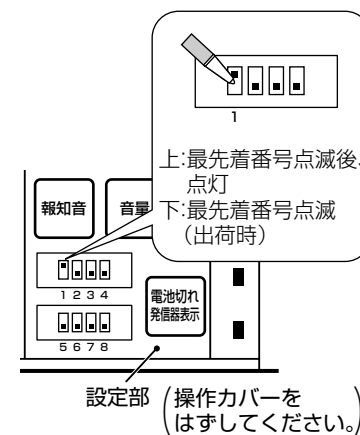
メモ

- 報知音は変更できます。 ☞47ページ
- 報知音の鳴動回数は変更できます。 ☞47ページ
- 1番先に押された番号も2番目以降と同じく、点灯させることもできます。 ☞ 最先着点灯表示42ページ
- 同じ番号の発信器から2回以上呼び出されたときに番号表示の点滅を継続させることもできます。 ☞ 再呼出表示42ページ

最先着点灯表示

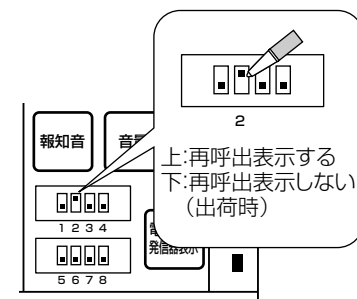
2番目以降と同じように、1番先に押された番号も点灯させることができます。

1 機能設定スイッチの「1」を上（ON）にする

- 最先着番号が約5秒間点滅し、その後点灯に変わります。

再呼出表示

同じ番号の発信器から2回以上呼び出された場合、番号表示の点滅を継続させることができます。

1 機能設定スイッチの「2」を上（ON）にする

- 同じ番号の発信器からの呼出時に点滅し続けます。
- 消去操作をするまで、点滅し続けます。

メモ

- 5秒以内の同じ番号からの再呼出は受け付けません。（押し間違いによる再呼出表示を防ぐため）
- 最先着番号の点滅と再呼出表示の点滅は区別できません。

受信器の番号表示を消去する

番号を消去するには集中消去器、集中操作器を使う「別ボタン」、呼び出した発信器を押す「同ボタン」、設定した時間が経過すれば消える「タイマー」の3つの方法があります。

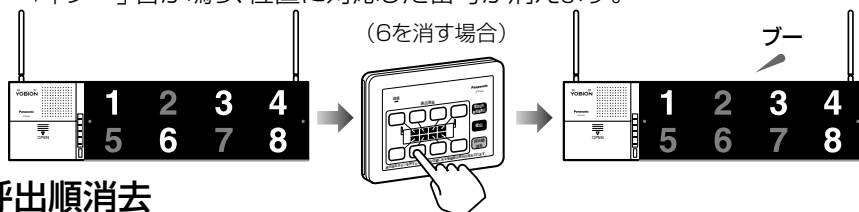
- 品番ECE3316・ECE3346・ECE3336シリーズの卓上型発信器の消去方法について ☞ 45ページ

別ボタン消去（出荷時）

表示消去スイッチを［別ボタン］側にする

集中消去器

1 表示順に対応した位置の消去ボタンを押す

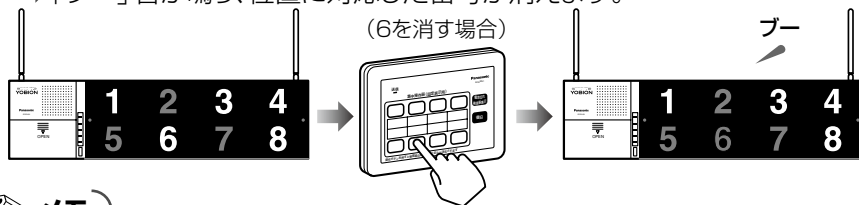
➡「ブー」音が鳴り、位置に対応した番号が消えます。

■呼出順消去
［呼出順消去］ボタンを押すと、呼び出された順に番号が消えます。

■間違えたときは10秒以内に［復旧］ボタンを押す。

- 受信器の表示を再表示できます。

集中操作器

1 表示順に対応した位置の操作ボタンを押す

➡「ブー」音が鳴り、位置に対応した番号が消えます。

メモ

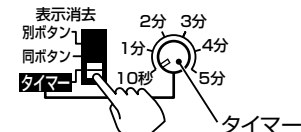
- 表示を消去したい受信器または増設表示器に登録した集中消去器や集中操作器で操作してください。
- **集中操作器の動作切替スイッチは「ワンタッチ消去」または「点灯・消灯交互」に設定してください。（「ワンタッチ点灯」では消去できません。）**

同ボタン消去

表示消去スイッチを［同ボタン］側にする

➡呼び出した番号に登録した発信器の押ボタンを再度押すと、「ブー」音が鳴り、その番号が消去されます。

タイマー消去

1 表示消去スイッチを［タイマー］側にする

2 消去時間をタイマーで設定する

- 10秒、30秒、および1分～5分を30秒単位で設定できます。

➡設定した時間が経過すると、「ブー」音が鳴り、表示が自動的に消去されます。

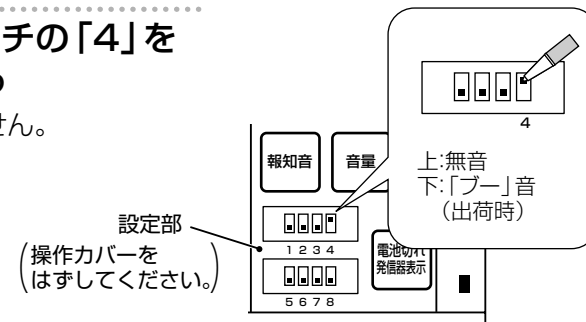
メモ

- 「同ボタン消去」、「タイマー消去」設定時も集中操作器、集中消去器での消去ができます。

消去音を消す

消去時に鳴る「ブー」音を鳴らさないようにすることができます。

1 機能設定スイッチの「4」を上（ON）にする

- 消去音は鳴りません。

次ページに続く

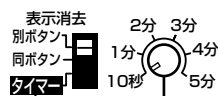
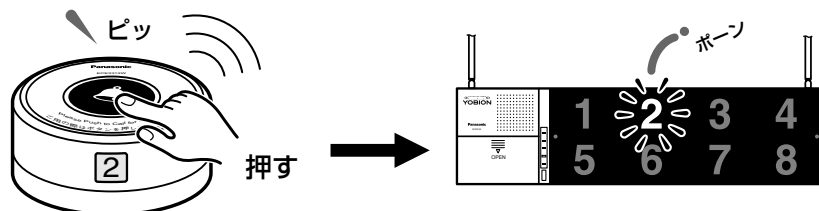
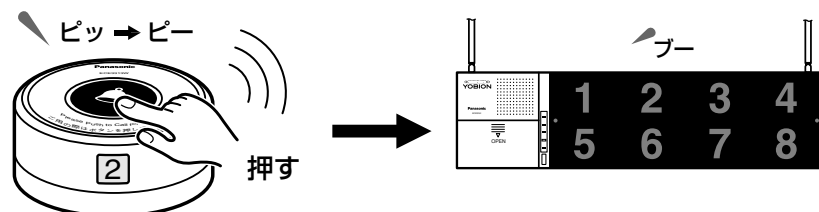
受信器の番号表示を消去する（つづき）

ECE3316・ECE3346・ECE3336シリーズの卓上型発信器の操作方法

ECE3316・ECE3346・ECE3336シリーズの卓上型発信器では受信器の表示を消去することができます。以下の手順で消去操作をしてください。

ECE3316・3346・3336 シリーズの卓上型発信器	ECE3316W・ECE3316H・ECE3316A01 ECE3346□□□・ECE3336□□□ （□は色品番＝J01など）

別ボタン消去

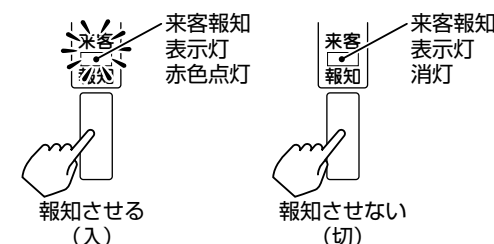
表示消去スイッチを［別ボタン］側にする

1 押ボタンを押す（呼び出す）

2 押ボタンを 1.5 秒以上 押す（番号を消す）

注 連続音「ピー」音が鳴るまで押し続けてください。押ボタンを離したときに番号が消えます。

来客を報知する

熱線センサー発信器を登録している場合、人を検知すると報知音が鳴ります。また、接点入力により来客報知をお知らせすることもできます。

- 熱線センサー発信器が来客を検知すると、報知音が鳴り、来客報知表示灯が約5秒間赤色点滅し、その後、赤色点灯します。（番号表示は出ません。）

  〈出荷時〉報知音:「ピンポン」音

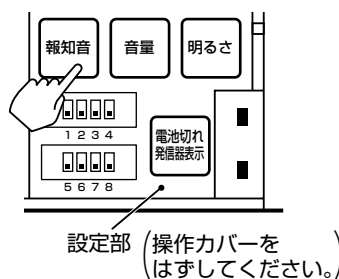
- 来客報知入/切ボタンで報知させるかどうかを選ぶことができます。

メモ

- 報知音は変更できます。☞48ページ
- 遠隔操作用に登録したスリー発信器でも来客報知の入/切を切り替えることができます。☞33ページ
- 来客報知時に接点出力を出してチャイムなどを動作させることもできます。☞53～54ページ

報知音を変更する

呼出時の報知音を変更することができます。

■受信器の 報知音 ボタンを押して変更する

〈**出荷時**〉報知音：「ポーン」音

➡押すごとに、まず現在の報知音が鳴り、次のように音をくり返します。
お好みの音を選んでください。

「ポーン」→「ピンポンA」→「ピンポンB」→「ポロロン」→「ブー」→「メロディA」→「メロディB」→「無音※」→「ポーン」→……くり返し
※「ピッ」と鳴りますが無音に設定されます。

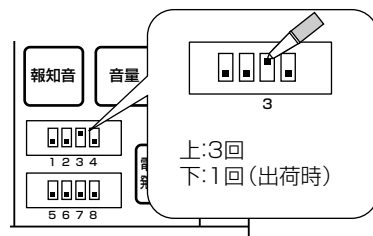
✎ **メモ**

- 操作中に5秒以上間隔をあけると、選択中の音に確定されます。
- 表示窓に番号を表示しているときでも変更できます。
- 受信器では来客報知時の報知音は変更できません。☞48ページ

鳴動回数を変える

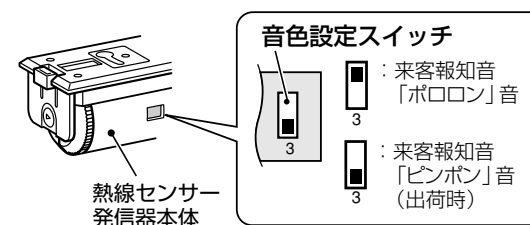
報知音の鳴動回数を1回か3回かを選べます。

1 機能設定スイッチの「3」を上（ON）にする

- 鳴動回数が3回になります。

✎ **メモ**

- 来客報知時（☞46ページ）の鳴動回数も変わります。

来客報知時の報知音を変える

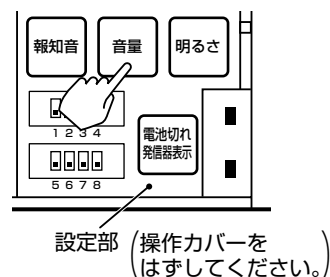
熱線センサー発信器の設定で、来客報知時の報知音を変更することができます。複数ヵ所の入り口がある場合、それぞれの音を変えておくと便利です。

- 設定スイッチ部は検知窓の反対側にあります。
カバーをはずして本体を回してください。
（はずしかたは、熱線センサー発信器に付属の説明書を確認してください。）

使いかた

音量を変更する

報知音や消去音の音量を変更することができます。

■受信器の[音量]ボタンを押して変更する

〈出荷時〉：音量「大」

➡押すごとに、まず現在の音量で鳴り、次のように音量が変化します。お好みの音量を選んでください。

「切※」→「小」→「中」→「大」→「切※」→……くり返し
※「ピッ」と鳴りますが無音に設定されます。

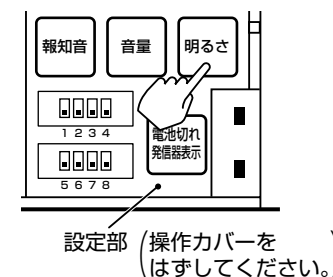
✎ メモ

- ●操作中に5秒以上間隔をあけると、選択中の音量に確定されます。
- ●表示窓に番号を表示しているときでも変更できます。
- ●遠隔操作用に登録したスリー発信器でも音量を切り替えることができます。☞33ページ
- ●増設スピーカーの音量は変わりません。

表示窓の明るさを変更する（受信器）

受信器の表示窓の明るさを変更することができます。

■受信器の[明るさ]ボタンを押して変更する

〈出荷時〉：明るさ100％（最大）

➡押すごとに、すべての表示窓がまず現在の明るさで表示され、4段階に明るさが変わります。お好みの明るさを選んでください。

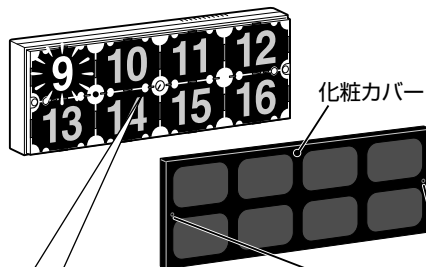
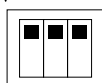
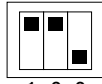
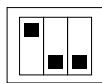
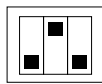
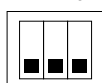
「明るさ25％」→「明るさ50％」→「明るさ75％」→「明るさ100％」→「明るさ25％」→‥‥くり返し

表示窓のすべての番号表示が点灯して明るさを示します。

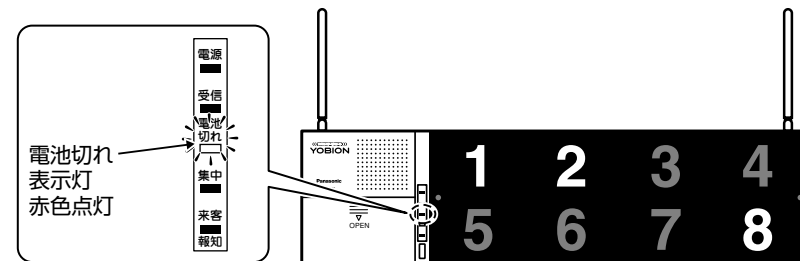
✎ メモ

- ●操作中に5秒以上間隔をあけると、選択中の明るさに確定されます。
- ●表示窓に番号を表示しているときでも変更できます。
- ●遠隔操作用に登録したスリー発信器でも明るさを切り替えることができます。 ☞ 33ページ

表示窓の明るさを変更する（増設表示器）

出荷時状態では受信器と同じ明るさで表示されますが、増設表示器で個別に設定することもできます。

〈明るさ設定〉

受信器連動

表示明るさ100%

表示明るさ　75%

表示明るさ　50%

表示明るさ　25%

電池切れの発信器を調べる

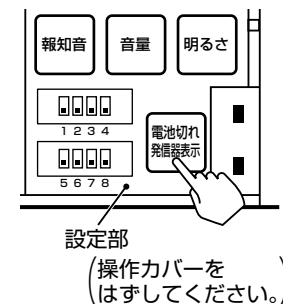
電池切れが近い発信器がある場合、受信器の電池切れ表示灯が赤色点灯しますので、次の操作をしてください。

1 受信器の電池切れ発信器表示ボタンを押す

➡電池が切れかかっている発信器の番号が表示されます。

■番号呼出用の発信器以外の場合

集中操作器
集中消去器 ｝:集中表示灯 点滅

熱線センサー発信器 :来客報知表示灯 点滅

スリー発信器 :集中表示灯と来客報知表示灯 点滅

2 表示された番号の発信器の電池を交換する

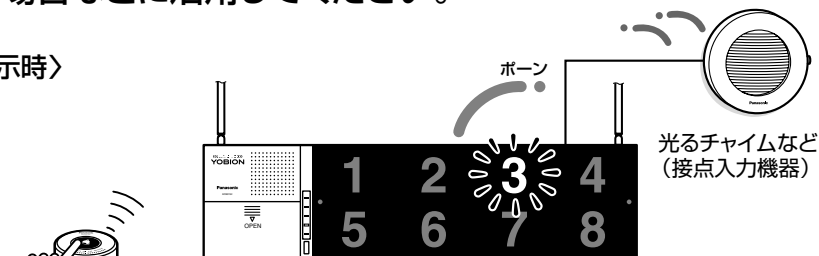
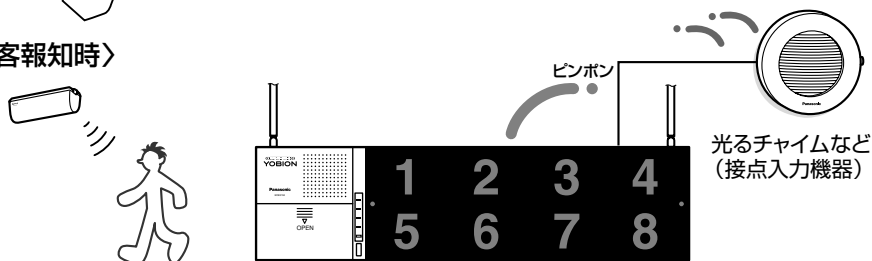
☞21～23ページ

3 電池を交換した発信器を押して、電池切れ表示灯が点灯しないことを確認する

メモ

- 集中操作器、集中消去器の電池切れ発信器表示ボタンを押しても表示できます。
- 集中操作器または集中消去器は複数台登録されている場合、集中表示灯は1つしかないため、電池切れの機器を特定できません。

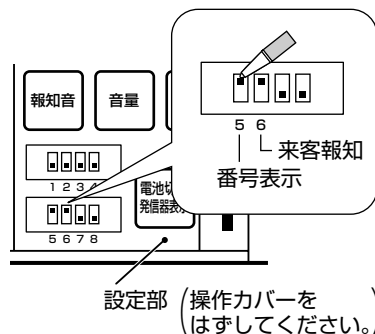
接点出力をする

受信器に番号が表示されたときや熱線センサー発信器が来客を検知したとき、チャイムなど別の機器を動作させる出力信号を出すことができます。ほかの場所でも呼出をお知らせしたい場合などに活用してください。

接点出力設定

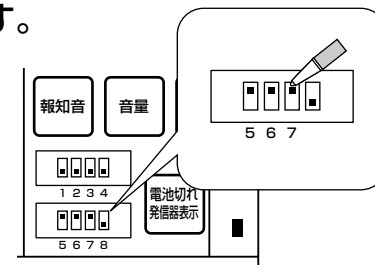
番号表示時に接点出力させるか、来客報知時に接点出力させるかどうかを選びます。

1 機能設定スイッチの「5」または「6」を上（ON）にする

機能設定スイッチ5
上：番号表示時に接点出力する
下：接点出力しない（出荷時）

機能設定スイッチ6
上：来客報知時に接点出力する
下：接点出力しない（出荷時）

接点出力時間

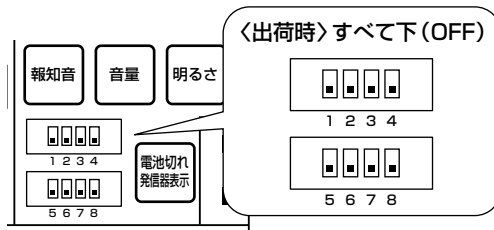
接点出力信号を出す時間を選びます。

1 機能設定スイッチの「7」で選ぶ

上：機能設定スイッチ「5」を上（ON）にしている場合
＝番号表示されている間接点出力する
機能設定スイッチ「6」を上（ON）にしている場合
＝来客報知時、5秒間接点出力する
下：3秒間接点出力する（出荷時）

メモ

- 接点出力時間を選択するには、接点出力設定の機能設定スイッチ5または6が「上（ON）側」になっている必要があります。☞53ページ

使いかた

受信器で設定する機能設定一覧

ｽｲｯﾁ番号	機能名	設定	記載ページ
1	**最先着表示選択** 一番先に押された番号の表示を選択します。	上：最先着、2番目以降とも5秒間点滅後点灯する 下：最先着番号は消去するまで点滅を継続する 2番目以降の番号は、5秒間点滅後、点灯する	☞42ページ
2	**再呼出表示の有/無** 同じ番号の発信器が2回以上押されたときに点滅を続けるかどうかを設定します。	上：点灯中の番号が再度呼ばれた場合、表示が点滅に変わり、点滅が継続する 下：点灯中の番号が再度呼ばれた場合も5秒間点滅し、点灯に戻る	☞42ページ
3	**呼出鳴動回数** 呼出時の報知音の鳴る回数を設定します。	上：番号表示時、来客報知時の報知音の鳴動回数 3回 下：番号表示時、来客報知時の報知音の鳴動回数 1回	☞47ページ
4	**消去音選択** 消去音を選択します。	上：表示消去時の報知音「無音」 下：表示消去時の報知音「ブー」	☞44ページ
5	**番号表示時接点出力** 発信器からの呼出時にチャイムなど別の機器を動作させる出力信号を出すかどうかを設定します。	上：番号表示時に接点出力を行う 下：接点出力しない	☞53ページ
6	**来客報知時接点出力** 来客があったときにチャイムなど別の機器を動作させる出力信号を出すかどうかを設定します。	上：来客報知時に接点出力を行う 下：接点出力しない	☞53ページ
7	**接点出力の時間** 上記、機能設定スイッチ5と6の出力信号を出す時間を設定します。	上： 番号表示時接点出力＝番号表示されている間出力 来客報知時接点出力＝5秒間接点出力 下：3秒間 ※接点出力時間は 「5:番号表示時接点出力」「6:来客報知時接点出力」が上（ON）設定時のみ有効	☞54ページ
8	**使用しません。** 必ず下（OFF）のまま使用してください。		

仕　様

■小電力型ワイヤレスサービスコール受信器（シンプルタイプ）（ECE3152）

屋内用

項目	仕様
電源電圧	AC100V　50/60Hz
消費電力	全表示時 18W　待機時 4W
使用周波数	CH.1（426.0250）MHz CH.3（426.0500）MHz CH.5（426.0750）MHz CH.7（426.1000）MHz の1波　※周波数設定スイッチで選択
電波の到達距離	障害物のない場所での水平見通し距離約100m （周囲環境により異なります。）
呼出音量	70dB以上（前方1m）
音量調節幅	大ー小：約24dB（3段階）
音色	「ポーン」「ピンポンA」「ピンポンB」「ポロロン」 「ブー」「メロディA」「メロディB」「無音」
使用温度範囲	0℃～＋40℃
寸法	高さ:約120mm※　幅:約460mm　奥行:約55mm （※アンテナを伸ばした状態/高さ:約229mm）
質量	約1.5kg

■小電力型ワイヤレスサービスコール卓上型発信器

（ECE3313W ECE3313H ECE3312A01
ECE3316W ECE3316H ECE3316A01）

屋内用

項目	仕様
電源電圧	3.0V
動作電圧範囲	2.2V～3.5V
消費電流	動作時 50mA以下　待機時 10μA以下
使用周波数	CH.1（426.0250）MHz CH.3（426.0500）MHz CH.5（426.0750）MHz CH.7（426.1000）MHz の1波　※周波数設定スイッチで選択
送信出力	1mW $^{+20\%}_{-50\%}$
操作音色	押ボタン押下時:「ピッ」音 長押し時:「ピー」音（ECE3316品番のみ）
電源	単4形乾電池×2本
電池寿命	約1年（40回/1日）（マンガン乾電池使用時）
使用温度範囲	0℃～＋40℃
寸法	高さ：約38mm　幅：約Φ80mm
質量	約100g（電池は含みません。）

■小電力型ワイヤレス発信器ファンシー
（ECE3342□□□　ECE3346□□□）（□は色番号=J01など）

■小電力型ワイヤレス発信器みやび
（ECE3332□□□　ECE3336□□□）（□は色番号=B02など）

屋内用

項目	仕様
電源電圧	3.0V
動作電圧範囲	2.2V～3.5V
消費電流	動作時　50mA以下　　待機時　10μA以下
使用周波数	CH.1（426.0250）MHz CH.3（426.0500）MHz CH.5（426.0750）MHz CH.7（426.1000）MHz の1波　※周波数設定スイッチで選択
送信出力	1mW $^{+20\%}_{-50\%}$
操作音色	押ボタン押下時:「ピッ」音 長押し時:「ピー」音（ECE3336･ECE3342品番のみ）
電源	単4形乾電池×2本
電池寿命	約1年（40回/1日）（マンガン乾電池使用時）
使用温度範囲	0℃～＋40℃
寸法	ファンシー/高さ:約36mm　幅:約93mm　奥行:約53mm みやび/高さ:約33mm　幅:約60mm　奥行:約60mm
質量	約60g（電池は含みません。）

■小電力型ワイヤレスサービスコール壁掛型発信器（ECE3323）

屋内用

項目	仕様
電源電圧	3.0V
動作電圧範囲	2.2V～3.5V
消費電流	動作時　50mA以下　待機時　10μA以下
使用周波数	CH.1（426.0250）MHz CH.3（426.0500）MHz CH.5（426.0750）MHz CH.7（426.1000）MHz の1波　※周波数設定スイッチで選択
送信出力	1mW $^{+20\%}_{-50\%}$
操作音色	「ピッ」音
電源	単4形乾電池×2本
電池寿命	約1年（40回/1日）（マンガン乾電池使用時）
使用温度範囲	0℃～＋40℃
寸法	高さ：約120mm　幅:約70mm　奥行:約21mm
質量	約100g（電池は含みません。）

■小電力型ワイヤレスサービスコール卓上型発信器（メニュースタンド付）
（ECE3723W）

屋内用

項目	仕様
電源電圧	3.0V
動作電圧範囲	2.2V～3.5V
消費電流	動作時　50mA以下　待機時　10μA以下
使用周波数	CH.1（426.0250）MHz CH.3（426.0500）MHz CH.5（426.0750）MHz CH.7（426.1000）MHz の1波　※周波数設定スイッチで選択
送信出力	1mW $^{+20\%}_{-50\%}$
操作音色	「ピッ」音
電源	単4形乾電池×2本
電池寿命	約1年（40回/1日）（マンガン乾電池使用時）
使用温度範囲	0℃～＋40℃
寸法	卓上型発信器（取付時）/高さ:約47mm　幅:約φ80mm メニュースタンド/高さ:約98mm　幅:約165mm　奥行:約143mm）
質量	約320g（電池は含みません。）

■小電力型ワイヤレスサービスコール卓上型発信器（ナプキンスタンド付）
（ECE3713W）

屋内用

項目	仕様
電源電圧	3.0V
動作電圧範囲	2.2V～3.5V
消費電流	動作時　50mA以下　待機時　10μA以下
使用周波数	CH.1（426.0250）MHz CH.3（426.0500）MHz CH.5（426.0750）MHz CH.7（426.1000）MHz の1波　※周波数設定スイッチで選択
送信出力	1mW $^{+20\%}_{-50\%}$
操作音色	「ピッ」音
電源	単4形乾電池×2本
電池寿命	約1年（40回/1日）（マンガン乾電池使用時）
使用温度範囲	0℃～＋40℃
寸法	卓上型発信器（取付時）/高さ:約47mm　幅:約φ80mm ナプキンスタンド/高さ:約99mm　幅:約98mm　奥行:約120mm）
質量	約220g（電池は含みません。）

■小電力型ワイヤレスサービスコール集中消去器（ECE3206）
■小電力型ワイヤレスサービスコール集中操作器（固定表示タイプ用）（ECE3251）

屋内用

項目	仕様
電源電圧	3.0V
動作電圧範囲	2.2V～3.5V
消費電流	動作時　100mA以下　　待機時　10μA以下
使用周波数	CH.1（426.0250）MHz CH.3（426.0500）MHz CH.5（426.0750）MHz CH.7（426.1000）MHz の1波　※周波数設定スイッチで選択
送信出力	1mW　+20% −50%
操作音色	「ピッ」音
電源	単3形乾電池×2本
電池寿命	約1年（300回/1日）（アルカリ乾電池使用時）
使用温度範囲	0℃～+40℃
寸法	高さ:約120mm　幅:約162mm　奥行:約22mm
質量	約200g（電池は含みません。）

■小電力型ワイヤレスサービスコール増設表示器（シンプルタイプ）（ECE3157）

屋内用

項目	仕様
電源電圧	AC100V　50/60Hz
消費電流	全表示時 9W　待機時 2W
使用周囲温度	0℃～+40℃
寸法	高さ:約120mm　幅:約344mm　奥行:約55mm
質量	約1.2kg

■小電力型ワイヤレスコール スリー発信器（ECE1703P）

屋内用

項目	仕様
電源電圧	3.0V
動作電圧範囲	2.2V～3.5V
消費電流	動作時　50mA以下　待機時 10μA以下
使用周波数	CH.1（426.0250）MHz CH.3（426.0500）MHz CH.5（426.0750）MHz CH.7（426.1000）MHz の1波　※周波数設定スイッチで選択
送信出力	1mW　+20% −50%
操作音色	「ピッ」音
電源	単4形乾電池×2本
電池寿命	約1年（10回/1日）（マンガン乾電池使用時）
使用温度範囲	0℃～+40℃
寸法	高さ:約170mm　幅:約60mm　奥行:約21mm （ホルダーに入れた状態/高さ:約172mm　幅:約65mm　奥行:約28mm）
質量	約110g（電池は含みません。）

■小電力型ワイヤレス用アンテナ（ECE3501）

屋内用

項目	仕様
電源電圧	DC12V
消費電流	100mA以下
使用周波数	CH.1（426.0250）MHz CH.3（426.0500）MHz CH.5（426.0750）MHz CH.7（426.1000）MHz の1波　※受信器により自動設定
使用周囲温度	0℃～+40℃
寸法	高さ:約240mm※　幅:約150mm　奥行:約31mm （※アンテナを伸ばした状態/高さ:約335mm）
質量	約500g

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社「修理ご相談センター」へ!
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保管してください。

保証期間:お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間　7年

当社は、この小電力型ワイヤレスサービスコールの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

別紙の「異常時の点検一覧表」に従ってご確認のあと、直らないときは、電源コードを使用している場合は、まず電源プラグを抜いて、ご使用を中止してから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
  下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料　は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代　は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料　は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
製品名	小電力型ワイヤレス サービスコール（シンプルタイプ）	お買い上げ日	年　月　日
品　番		故障の状況	できるだけ具体的に

愛情点検	長年ご使用のサービスコール受信器の点検を!

こんな症状はありませんか	●電源を入れても動かないことがある。 ●こげくさい臭いや異常な音、振動がする。 ●その他の異常や故障がある。	このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故防止のため、電源スイッチを「切」側にし、電源コードを使用している場合は電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年　月　日	品番	
販売店名	電話（　　）　—		
お客様ご相談窓口	電話（　　）　—		

パナソニック電工株式会社 HA・セキュリティ事業部
〒514-8555 三重県津市藤方1668

8A2 786 00004 K1002-31208Mj